

日本語

V5.00 で更新される主な機能

バージョンアップに関してのご注意

バージョンアップする場合は、必ずバージョンアップガイド「4-688-215-03(1)」に従って操作を行ってください。

HD-HDR 機能に対応（別売の HDR ライセンスが必要）

別売の HDR ライセンス CBKZ-SLHL1 をインストールすることにより、HD-HDR (Hybrid Log Gamma) の機能が使えるようになりました。

関連メニュー

Operation > Base Setting

Paint > HDR Paint Setting

Maintenance > Option > Install Option

“SR Live for HDR” メタデータに対応（別売の HDR ライセンスが必要）

別売の HDR ライセンス CBKZ-SLHL1 をインストールすることにより SDR Gain などのキーパラメーターをメタデータとしてファイルに同時に記録できるようになりました。これらのキーパラメーターは、SDI 出力にも重畳できます。

メタデータを活用して、Live カメラ制作からポストプロダクションでのファイル処理まで一貫したソリューションが提案可能になります。

Last Clip Delete 機能に対応

アサインナブルスイッチに Last Clip Delete 機能を割り当てることにより、直前に記録したクリップを削除できるようになりました。

関連メニュー

Operation > Assignable Switch

拡大フォーカス (Focus Mag) モードの表示機能改善

誤操作を防ぐため、拡大フォーカス (Focus Mag) の視認性を改善しました。

サムネイル画面からのファイル転送指示に対応

本機のサムネイル画面からオリジナルファイル、またはプロキシファイルの転送選択ができるようになりました。

関連メニュー

Thumbnail > Transfer Clip

Thumbnail > Transfer Clip (Proxy)

証明書更新メニュー対応

Web メニューで Network Client Mode の証明書がインポートできるようになりました。

また、Web メニューの Upload Settings で Sony Ci 証明書もインポートできるようになりました。

証明書の詳細は、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

関連メニュー

• Web メニューの System Settings > Network Client Mode Settings

• Web メニューの Upload Settings の「Sony Ci」設定用画面

パスワードセキュリティの強化

セキュリティ強化のため、Basic 認証に使用するパスワードに 8 文字以上の英数字をそれぞれ 1 文字以上使用することを必須としました。

関連メニュー

Maintenance > Basic Authentication > Password

ご注意

本機のファームウェアを V5.0 未満から V5.0 以降にバージョンアップすると、パスワード設定はリセットされます。この場合はパスワードを再設定してください。

その他

記録、および起動に関する動作の安定性が向上しました。

V4.12 で更新される主な機能

- Proxy File の Auto Upload 時、転送エラー File より新規追加 File を優先的に転送するようにしました。
- 記録動作の安定性を向上しました。

V4.11 で更新される主な機能

本機の日付設定がうるう日 (2月29日) に設定されていると記録が出来ない症状を改善致しました。

V4.10 で更新される主な機能

XQD メモリーカード QD-G120F、QD-G240F に対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに QD-G120F、QD-G240F を追加しました。XQD メモリーカードを使用する際には XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

V4.00 で更新される主な機能

Slow & Quick Motion のアサインナブルスイッチ登録

メニューの Slow & Quick Motion の Off/On 設定をアサインナブルスイッチで切り替えることが可能になりました。アサインナブルスイッチの 1、3、4、5、および ONLINE ボタンに登録可能です。

関連メニュー

Operation > Rec Function > Slow & Quick Motion

Operation > Assignable SW

プランニングメタデータの SDXC カードからのロードに対応

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 を使用して SDXC カードからのプランニングメタデータのロードが可能になりました。

関連メニュー

Operation > Planning Metadata

ご注意

SD/SDHC カードは使用できません。

ネットワーククライアントモード時の機能改善

ソニーの QoS 技術を用いた高品質なストリーミングの性能を改善しました。

また、Connection Control Manager を使用して以下の操作が可能になりました。

- ・プロキシ記録する / しないの設定
- ・カメラリモートコントロール、および ALL ファイルの運用

関連メニュー

Maintenance > Network Client Mode > Preset1/2/3

NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

V3.20 で更新される主な機能

ATW（自動追尾ホワイトバランス）の Pure mode に対応

従来のモードに比べ、青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにホワイトバランスを調整する Pure mode に対応しました。

関連メニュー

Operation > White Setting > ATW Mode

SDHC メモリーカード（FAT）に対応

別売のメディアアダプター MEAD-SD02 で使用できる SD カードに、SDXC メモリーカードだけでなく SDHC メモリーカードも加わりました。

ご注意

- ・SDHC メモリーカードはファイルシステムが FAT で、記録フォーマットが MPEG HD420(HQ/SP) のときのみ対応しています。
- ・FAT ファイルシステムは SDHC メモリーカードのみに対応しています。

Wi-Fi ステーションへの接続設定対応

Wireless LAN アクセスポイント（Wi-Fi ステーション）の接続設定を Web メニューからだけでなく、本機のメニューから設定ができるようになりました。

関連メニュー

Maintenance > Network > Wi-Fi Station Detail Settings

ネットワーククライアントモードの複数登録

ネットワーククライアントモードの設定を 3 つまで登録できるようになりました。

関連メニュー

Maintenance > Network Client Mode > Preset 1 ~ Preset 3

Proxy Recording Mode のアサインブルスイッチ登録

メニューの Operation > Proxy Recording Mode > Setting 設定をアサインブルスイッチで切り替えることが可能になりました。

ネットワーククライアントモード時のプロキシ記録のオン・オフをメニュー操作することなく切り替えできます。

デジタルワイヤレスレシーバーとの連携機能の強化

本機と連携してソニー製デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D/S02D/S02DN のパワーセーブ制御が可能になりました。

- ・アサインブルスイッチに「TX Power Save」機能を割り当てできます。
- ・本機の電源スイッチと連動してデジタルワイヤレスレシーバーのパワーセーブ制御を行います。
- ・パワーセーブ時のデジタルワイヤレスレシーバーの状態をビューファインダーや LCD モニターに表示できます。

関連メニュー

Maintenance > WRR Setting > TX Power Save

Maintenance > WRR Setting > TX-Cam Power Sync

ご注意

本機能に対応するソニー製デジタルワイヤレスレシーバーのファームウェアバージョンは次のとおりです。
DWR-S01D V1.16 以降、S02D V1.07 以降、S02DN V1.12 以降

V3.10 で更新される主な機能

記録中のフォーマット

記録中でも、もう一方のカードスロットに装着した SxS メモリーカードのフォーマットが可能になりました。

ご注意

- ・再生中およびサムネイル画面表示中には、フォーマットはできません。
- ・フォーマット中に、もう一方の SxS メモリーカードへの記録操作は受け付けません。

XDCAM air 対応

本機と XDCAM air を接続することで、高品質なストリーミングを行えるようになりました。

ご注意

XDCAM air は、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域について XDCAM air のサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

また、XDCAM air のプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。

ー 利用規約

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

ー XDCAM air のプライバシーポリシー

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

ー プロフェッショナル ID のプライバシーポリシー

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

プランニングメタデータファイルの転送

「Auto upload (Proxy)」を設定時、プランニングメタデータファイルの転送ができるようになりました。

Web メニューについて

Web メニュー画面の左上の  をタップして表示されるメニュー項目に「OSS Information」を追加しました。

V3.00 で更新される主な機能

外部ストレージメディアへのクリップのコピー

外部機器接続端子に接続したストレージメディアや USB メディアに、SXS メモリーカードに記録されたクリップをコピーすることが可能になりました。

本線で記録したオリジナルファイルの部分転送

「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン 2.2 以降を使用すると、本機で記録したオリジナルファイルにイン点/アウト点を指定し、切り出した部分を転送できるようになりました。

プロキシ記録フォーマットの追加

プロキシ記録で設定できるフォーマットに HD Auto を追加しました。

ストリーミングフォーマットの追加

低ビットレートでのフォーマットとして 0.3Mbps、0.2Mbps を追加しました。

User メニュー項目を追加

User メニューに File メニューの一部が登録できるようになりました。

V2.00 で更新される主な機能

オートフォーカス機能

PXW-X400KF、および PXW-X580KF に付属しているレンズが接続されているとき、オートフォーカス調整が可能になりました。

フラッシュバンド補正機能

フラッシュバンド現象補正機能に対応しました。

NFC 機能

NFC 機能に対応しました。

起動性能・操作応答性の改善

以下の起動性能・操作応答性を改善しました。

- 起動してから、キー操作を受け付けるまでの時間を短縮しました。
- 起動してから、ビューファインダー/LCD モニターに画が出力されるまでの時間を短縮しました。
- 電源スイッチを OFF してからシャットダウンが完了するまでの時間を短縮しました。
- サムネイルモードにおける応答性を改善しました。
- 連続した記録操作の応答性を改善しました。

XAVC Intra 1080 59.94P/50P フォーマット記録に対応

システム周波数 59.94、および 50 選択時に、XAVC-I 1080P が選択可能となりました。

プロキシデータ記録の機能改善

以下の機能改善を行いました。

- アサインブルスイッチに Proxy Rec Start/Stop 機能を割り当てることにより、プロキシデータ記録開始・停止を単独で制御することが可能となりました。
- SDXC カードへのプロキシデータ記録に対応しました。
- Network Client Mode 時もプロキシデータ記録が可能となりました。

デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S02D 接続時の機能拡張

通信している送信機の RF Power Level 設定、およびパワーセーブが可能となりました。

有線 LAN 詳細設定

LAN ケーブルを使用してネットワークに接続する場合の詳細設定が可能となりました。

User Menu Lock 機能

User Menu のロック機能に対応しました。

ペイント機能の改善

以下のペイント機能の改善を行いました。

- 初期設定での DCC 性能（DCC Delay Time）を従来機に合わせました。
- Low Key Saturation の補正効果を従来機に合わせました。

ご注意

すでに設定を変更してご使用の場合は、再設定が必要になります。

Counter/Duration 表示設定の初期設定の修正

初期設定を従来機に合わせて Counter としました。

XQD メモリーカードの新 G シリーズ、M シリーズに対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに、新 G シリーズ (QD-G32E、QD-G64E、QD-G128E)、および M シリーズ (QD-M32A、QD-M64A、QD-M128A) を追加しました。

ご注意

XQD メモリーカードのご使用には、別売の XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

V1.10 で更新される主な機能

ファイルシステム

- 記録モードとして UDF が選択できるようになりました。
- UDF ファイルシステムで記録されたメディアの再生が可能になりました。

Interval Rec 機能

- 下記ビデオフォーマットで Interval Rec 機能が使えるようになりました。
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Major Functions Updated in V5.00

Precautions when upgrading

When upgrading, follow the steps described in the upgrade guide (4-688-215-13(1)).

HD-HDR function support (HDR license option required)

HD-HDR (Hybrid Log Gamma) function is now supported by installing the CBKZ-SLHL1 HDR License (option).

Related menu items

Operation >Base Setting

Paint >HDR Paint Setting

Maintenance >Option >Install Option

“SR Live for HDR” metadata support (HDR license option required)

SDR Gain and other key parameters can now be recorded simultaneously to a file as metadata by installing the CBKZ-SLHL1 HDR License (option). These key parameters can be also be embedded in the SDI output.

The use of metadata enables more consistent solutions from Live camera production through to file processing in post production.

Last Clip Delete function support

The last recorded clip can now be deleted using an assignable switch assigned with the Last Clip Delete function.

Related menu items

Operation >Assignable Switch

Focus magnifier (Focus Mag) mode display function improvements

Improved visibility of focus magnification (Focus Mag) to avoid erroneous operation.

File transfer supported from the thumbnail screen

Original files and proxy files for transfer can now be selected on the thumbnail screen of the unit.

Related menu items

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Certification update menu support

Network Client Mode certificates can now be imported using the web menu.

Sony Ci certificates can also now be imported using Upload Settings in the web menu.

For details about certificates, contact your Sony sales representative.

Related menu items

• System Settings >Network Client Mode Settings in the web menu

• “Sony Ci” setup screen accessed from Upload Settings in the web menu

Password security enhancements

Passwords used for basic authentication now must be 8 characters or longer and contain at least one alphabetic character and one numeric character, respectively, for enhanced security.

Related menu items

Maintenance >Basic Authentication >Password

Note

The password setting is reset when upgrading the firmware of the unit from a version prior to 5.0 to version 5.0 or later. In this case, reconfigure the password.

Other

Stability of recording and startup operations has been improved.

Major Functions Updated in V4.12

- At Proxy File Auto Upload, the newly added file is transferred preferentially over the file with transfer error.
- Improvement of the stability of the recording operation.

Major Functions Updated in V4.11

The recording cannot be performed when the leap day (February 29th) in the date setting of the unit is set. This symptom is improved.

Major Functions Updated in V4.10

Compatible with QD-G120F and QD-G240F XQD memory cards

QD-G120F and QD-G240F have been added to the XQD memory card lineup, which can be used with the camcorder. The XQD ExpressCard adapter (QDA-EX1) is required to use an XQD memory card.

Major Functions Updated in V4.00

Slow & Quick Motion assignable switch registration

The Slow & Quick Motion on/off setting in the setup menu can now be switched using an assignable switch.

It can be registered in assignable switch 1, 3, 4, 5, or the ONLINE button.

Related menu items

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Loading of planning metadata from an SDXC card

Planning metadata can now be loaded from SDXC cards using an optional MEAD-SD02 Media Adaptor.

Related menu items

Operation >Planning Metadata

Note

SD/SDHC cards cannot be used.

Function improvements in network client mode

The performance of high-quality streaming using Sony QoS Technology has been improved. In addition, the following operations are now supported using the Connection Control Manager.

- Proxy recording on/off
- Camera remote control and ALL file operations

Related menu items

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Major Functions Updated in V3.20

Support for Pure mode for ATW (auto tracing white balance)

Support added for Pure mode which, in comparison with the existing mode, automatically adjusts the white balance to obtain a result closer to primary colors without residual bluish or reddish colors.

Related menu items

Operation >White Setting >ATW Mode

SDHC memory card (FAT) support

In addition to SDXC memory cards, SDHC memory cards are now supported SD cards that can be used with the optional MEAD-SD02 Media Adaptor.

Notes

- SDHC memory cards are supported only when the file system is FAT and the recording format is MPEG HD420 (HQ/SP).
- The FAT file system is supported on SDHC memory cards only.

Configuration settings for connection to Wi-Fi station

Wireless LAN access point (Wi-Fi station) connection settings can now be configured from the setup menu of the unit, not just from the web menu.

Related menu items

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Network client mode multiple registration

Up to three network client mode settings can now be registered.

Related menu items

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 to Preset 3

Proxy Recording Mode assignable switch registration

Operation >Proxy Recording Mode >Setting in the setup menu can now be switched using an assignable switch.

This enables switching of proxy recording when in network client mode without using the menu.

Improved integration with digital wireless receivers

The power saving function of Sony DWR-S01D/S02D/S02DN Digital Wireless Receivers can now be controlled from the camcorder.

- The "TX Power Save" function can be assigned to an assignable switch.

- The power saving function of the digital wireless receiver can be linked to the operation of the power switch of the camcorder.
- The status of the digital wireless receiver in power saving mode is displayed in the viewfinder and LCD monitor.

Related menu items

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save
Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Note

The firmware version of the Sony digital wireless receiver required for support is given below.
DWR-S01D V1.16 or later, S02D V1.07 or later, S02DN V1.12 or later

Major Functions Updated in V3.10

Formatting while recording

Even while recording, the SxS memory card loaded in the other card slot can now be formatted.

Notes

- Formatting is not supported during playback or when the thumbnail screen is displayed.
- During formatting, recording to the other SxS memory card cannot be started.

XDCAM air support

High-quality streaming is now supported by connecting the camcorder to XDCAM air.


Note

XDCAM air is a cloud service that is provided by Sony. To use this service, registration is required. XDCAM air is not provided in some regions. For details on areas where the service is provided, refer to the following site.
<https://www.xdcam-air.com>
For details about the XDCAM air privacy policy, visit the following sites.
– Terms of service
https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html
– XDCAM air privacy policy
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>
– Professional ID privacy policy
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
For more details, contact Sony professional sales representative.

Transfer of planning metadata files

Planning metadata files can now be transferred by setting "Auto upload (Proxy)."

Web menu

"OSS Information" has been added to the menu items displayed by tapping  at the top left of the web menu screen.

Major Functions Updated in V3.00

Copying clips to external storage media

Clips recorded on SxS memory cards can be copied to storage media or USB media connected to the external device connector.

Transferring parts of original files recorded on the camcorder

Using "Content Browser Mobile" application version 2.2 or later, you can specify In/Out points in original files recorded by the camcorder to cut out and transfer the cutout parts.

Added proxy recording formats

HD Auto has been added to the configurable proxy recording formats.

Added streaming formats

0.3 Mbps and 0.2 Mbps low bit rate options have been added.

Added User menu items

Some items in the File menu can be added to the User menu.

Major Functions Updated in V2.00

Auto focus function

Auto focus operation is supported when the lens supplied with the PXW-X400KF or PXW-X580KF is attached.

Flashband correction function

A correction function for flashband phenomena is supported.

NFC function

The NFC function is supported.

Improved startup performance and operation response

The following startup performance and operation response items have been improved.

- The time from startup until key control is accepted has been shortened.
- The time from startup until an image is output on the viewfinder/LCD monitor has been shortened.
- The time taken from turning the power switch OFF and completely shutting down has been shortened.
- The response in thumbnail mode has been improved.
- The response for continuous recording operation has been improved.

XAVC Intra 1080 59.94P/50P format recording support

XAVC-I 1080P is selectable when the system frequency is 59.94 or 50.

Proxy data recording function improvements

The following function improvements have been made.

- You can start and stop proxy recording independently by assigning the Proxy Rec Start/Stop function to an assignable switch.
- Proxy data recording to SDXC cards is supported.
- Proxy data recording in Network Client Mode is supported.

Function expansion when connected with DWR-S02D Digital Wireless Receiver

RF power level setting and power saving are configurable for broadcasting transmitter.

Wired LAN detailed settings

Detailed settings are configurable when connected to a network using a LAN cable.

User Menu Lock function

A lock function for the User menu has been added.

Paint function improvements

- DCC performance (DCC Delay Time) with default setting modified to match conventional devices.
- Low Key Saturation correction effect modified to match conventional devices.

Note

Reconfiguration is required if already using a modified setting.

Counter/Duration indicator default setting modified

Default setting changed to Counter to match conventional devices.

G-series and M-series XQD memory card support

Added G-series (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) and M-series (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) to the XQD memory cards supported by the camcorder.

Note

The optional XQD ExpressCard Adaptor (QDA-EX1) is required to use XQD memory cards.

Major Functions Updated in V1.10

File system

- UDF is now selectable as a recording mode.
- Playback of media recorded with a UDF file system is supported.

Interval Rec function

- The Interval Rec function is supported for the following video formats.
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Français

Fonctions principales mises à jour dans la V5.00

Précautions à prendre lors de la mise à jour

Lors d'une mise à niveau, suivez les étapes décrites dans le guide de mise à niveau (4-688-215-23(1)).

Prise en charge de la fonction HD-HDR (Licence HDR en option requise)

La fonction HD-HDR (Hybrid Log Gamma) est désormais prise en charge en installant la licence HDR CBKZ-SLHL1 (option).

Éléments de menu associés

Operation >Base Setting
Paint >HDR Paint Setting
Maintenance >Option >Install Option

Prise en charge des métadonnées « SR Live for HDR » (Licence HDR en option requise)

Le gain SDR et d'autres paramètres clés peuvent désormais être enregistrés simultanément dans un fichier sous forme de métadonnées en installant la licence HDR CBKZ-SLHL1 (option).

Ces paramètres clés peuvent également être intégrés dans la sortie SDI.

L'utilisation de métadonnées permet d'obtenir des solutions plus cohérentes, de la production de caméras en direct jusqu'au traitement des fichiers en post-production.

Prise en charge de la fonction Last Clip Delete

Le dernier plan enregistré peut désormais être supprimé à l'aide d'un commutateur personnalisable attribué avec la fonction Last Clip Delete.

Éléments de menu associés

Operation > Assignable Switch

Améliorations de la fonction d'affichage en mode d'agrandissement de mise au point (Focus Mag)

Amélioration de la visibilité de l'agrandissement de la mise au point (Focus Mag) pour éviter les opérations erronées.

Transfert de fichiers pris en charge à partir de l'écran des miniatures

Les fichiers originaux et les fichiers proxy à transférer peuvent désormais être sélectionnés sur l'écran des miniatures de l'appareil.

Éléments de menu associés

Thumbnail > Transfert Clip

Thumbnail > Transfert Clip(Proxy)

Prise en charge du menu de mise à jour de la certification

Les certificats en Network Client Mode peuvent désormais être importés à l'aide du menu Web.

Les certificats Sony Ci peuvent également être importés à l'aide de Upload Settings dans le menu Web.

Pour plus de détails sur les certificats, contactez votre représentant Sony.

Éléments de menu associés

• System Settings > Network Client Mode Settings dans le menu Web

• L'écran de configuration « Sony Ci » est accessible à partir de Upload Settings dans le menu Web

Améliorations de la sécurité des mots de passe

Les mots de passe utilisés pour l'authentification de base doivent désormais comporter 8 caractères ou plus et contenir au moins un caractère alphabétique et un caractère numérique, respectivement, pour une sécurité renforcée.

Éléments de menu associés

Maintenance > Basic Authentication > Password

Remarque

Le réglage du mot de passe est réinitialisé lors de la mise à niveau du micrologiciel de l'appareil d'une version inférieure à 5.0 à une version 5.0 ou supérieure. Dans ce cas, reconfigurez le mot de passe.

Autre

La stabilité des opérations d'enregistrement et de démarrage a été améliorée.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.12

- Lorsque les fichiers proxy sont automatiquement chargés, le transfert des fichiers nouvellement ajoutés devient prioritaire sur les fichiers avec erreur de transfert.
- La stabilité de l'opération d'enregistrement a été améliorée.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.11

Le problème où l'enregistrement n'a pas eu lieu à cause de la configuration d'une journée bissextile (29 février) dans Date du menu de configuration de l'appareil a été résolu.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.10

Compatible avec les cartes mémoire XQD QD-G120F et QD-G240F

QD-G120F et QD-G240F ont été ajoutés à la gamme de cartes mémoire XQD, qui peuvent être utilisées avec le caméscope. L'adaptateur XQD ExpressCard (QDA-EX1) est requis pour utiliser une carte mémoire XQD.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.00

Enregistrement du commutateur attribuable de Slow & Quick Motion

Le réglage d'activation/désactivation de Slow & Quick Motion dans le menu de configuration peut être activé à l'aide d'un commutateur attribuable.

Il peut être enregistré sur l'un des commutateurs attribuables 1, 3, 4, 5 ou sur la touche ONLINE.

Éléments de menu associés

Operation > Rec Function > Slow & Quick Motion

Operation > Assignable SW

Chargement de métadonnées de planification à partir d'une carte SDXC

Les métadonnées de planification peuvent maintenant être chargées à partir de cartes SDXC en utilisant un adaptateur de support MEAD-SD02 optionnel.

Éléments de menu associés

Operation > Planning Metadata

Remarque

Les cartes SD/SDHC ne peuvent pas être utilisées.

Améliorations fonctionnelles en mode client réseau

La performance de lecture en transit haute qualité à l'aide de la technologie Sony QoS a été améliorée.

De plus, les opérations suivantes sont maintenant prises en charge depuis le Connection Control Manager.

- Activation/désactivation de l'enregistrement proxy
- Commande à distance de la caméra et opérations du fichier ALL

Éléments de menu associés

Maintenance > Network Client Mode > Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Fonctions principales mises à jour dans la V3.20

Prise en charge du mode Pure pour ATW (balance des blancs à suivi automatique)

Prise en charge ajoutée au mode Pure qui, par rapport au mode existant, ajuste automatiquement la balance des blancs afin d'obtenir un résultat plus proche des couleurs primaires sans couleurs rougeâtres ou bleuâtres résiduelles.

Éléments du menu associés

Operation >White Setting >ATW Mode

Prise en charge (FAT) de carte mémoire SDHC

En plus des cartes mémoire SDXC, les cartes mémoire SDHC sont maintenant des cartes SD prises en charge qui peuvent être utilisées avec l'adaptateur de support MEAD-SD02 en option.

Remarques

- Les cartes mémoire SDHC sont prises en charge uniquement lorsque le système de fichier est FAT et le format d'enregistrement est MPEG HD420 (HQ/SP).
- Le système de fichier FAT est pris en charge sur les cartes mémoire SDHC uniquement.

Réglages de configuration pour la connexion à une station Wi-Fi

Les réglages de la connexion au point d'accès LAN sans fil (station Wi-Fi) peuvent maintenant être configurés à partir du menu de configuration de l'appareil, pas seulement à partir du menu Web.

Éléments du menu associés

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Plusieurs enregistrements du mode client réseau

Jusqu'à trois réglages du mode client réseau peuvent maintenant être enregistrés.

Éléments du menu associés

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 à Preset 3

Enregistrement du commutateur attribuable du mode d'enregistrement Proxy

Operation >Proxy Recording Mode >Setting dans le menu de configuration peut maintenant être commuté en utilisant le commutateur attribuable.

Ceci permet de commuter l'enregistrement proxy en mode client réseau sans passer par le menu.

Intégration avec les récepteurs numériques sans fil améliorée

La fonction d'économie d'énergie des récepteurs numériques sans fil Sony DWR-S01D/S02D/S02DN peut maintenant être commandée à partir du caméscope.

- La fonction « TX Power Save » peut être attribuée à un commutateur attribuable.
- La fonction d'économie d'énergie des récepteurs numériques sans fil peut être reliée au fonctionnement du commutateur d'alimentation du caméscope.
- L'état du récepteur numérique sans fil en mode d'économie d'énergie est affiché dans le viseur et le moniteur LCD.

Éléments du menu associés

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Remarque

La version du firmware du récepteur numérique sans fil Sony nécessaire pour la prise en charge est indiquée ci-dessous. DWR-S01D V1.16 ou ultérieur, S02D V1.07 ou ultérieur, S02DN V1.12 ou ultérieur

Fonctions principales mises à jour dans la V3.10

Formatage pendant l'enregistrement

Même pendant l'enregistrement, la carte mémoire SxS chargée dans l'autre logement de carte peut désormais être formatée.

Remarques

- Le formatage n'est pas pris en charge pendant la lecture ou lorsque l'écran de miniatures est affiché.
- Pendant le formatage, l'enregistrement sur une autre carte mémoire SxS ne peut pas être lancé.

Prise en charge de XDCAM air

La lecture en transit de haute qualité est désormais prise en charge en connectant le caméscope à XDCAM air.

Remarque

XDCAM air est un service en nuage fourni par Sony.

Une inscription est requise pour utiliser ce service.

XDCAM air n'est pas fourni dans certaines régions. Pour plus de détails sur les zones dans lesquelles le service est fourni, rendez-vous sur le site suivant.

<https://www.xdcam-air.com>

Pour plus de détails sur la politique de confidentialité de XDCAM air, visitez les sites suivants.

– Modalités de service

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Politique de confidentialité de XDCAM air

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Politique de confidentialité de Professional ID


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Pour plus de détails, contactez votre représentant commercial professionnel Sony.

Transfert de fichiers de métadonnées de planification

Les fichiers de métadonnées de planification peuvent désormais être transférés en réglant « Auto upload (Proxy) ».

Menu Web

« OSS Information » a été ajouté aux éléments de menu affichés en appuyant sur  en haut à gauche de l'écran de menu Web.

Fonctions principales mises à jour dans la V3.00

Copie de plans sur un support de stockage externe

Les plans enregistrés sur des cartes mémoire SxS peuvent être copiés sur un support de stockage ou un support USB connecté au connecteur de périphérique externe.

Transfert de parties de fichiers d'origine enregistrés sur le caméscope

En utilisant la version 2.2 ou ultérieure de l'application « Content Browser Mobile », vous pouvez définir des points d'entrée et de sortie sur des fichiers d'origine enregistrés par le caméscope, afin de découper et transférer les parties découpées.

Formats d'enregistrement proxy ajoutés

HD Auto a été ajouté aux formats d'enregistrement proxy configurables.

Formats de diffusion ajoutés

Des options à débit binaire faible de 0,3 Mbps et 0,2 Mbps peuvent être sélectionnées.

Éléments de menu User ajoutés

Certains éléments du menu File peuvent être ajoutés au menu User.

Fonctions principales mises à jour dans la V2.00

Fonction de mise au point automatique

L'opération de mise au point automatique est prise en charge lorsque l'objectif fourni avec le PXW-X400KF ou PXW-X580KF est fixé.

Fonction de correction des bandes de flash

La fonction de correction pour le phénomène de bandes de flash est prise en charge.

Fonction NFC

La fonction NFC est prise en charge.

Performance de démarrage et réponse au fonctionnement améliorées

Les éléments de performance de démarrage et de réponse au fonctionnement suivants ont été améliorés.

- La durée du démarrage à l'acceptation de la commande de bouton est raccourcie.
- La durée du démarrage à la sortie de l'image sur le viseur/moniteur LCD est raccourcie.
- La durée de la mise hors tension à l'extension totale est raccourcie.
- La réponse en mode miniature a été améliorée.
- La réponse pour l'opération d'enregistrement continu a été améliorée.

Support d'enregistrement de format XAVC Intra 1080 59.94P/50P

XAVC-I 1080P est sélectionnable lorsque l'enregistrement continu est 59.94 ou 50.

Améliorations de la fonction d'enregistrement des données proxy

Les améliorations de la fonction suivantes ont été effectuées.

- Vous pouvez démarrer et arrêter l'enregistrement proxy indépendamment en attribuant la fonction Proxy Rec Start/Stop à un commutateur attribuable.
- L'enregistrement des données proxy sur les cartes SDXC est pris en charge.
- L'enregistrement des données proxy en Network Client Mode est pris en charge.

Extension de la fonction lors de la connexion à un récepteur sans fil numérique DWR-S02D

Les réglages de niveau de puissance RF et d'économie d'énergie sont configurables pour l'émetteur en communication.

Réglages détaillés LAN filaire

Les réglages détaillés sont configurables lors de la connexion à un réseau utilisant un câble LAN.

Fonction de verrouillage du menu User

Une fonction de verrouillage pour le menu User a été ajoutée.

Améliorations de la fonction Paint

- Performance DCC (DCC Delay Time) avec le réglage par défaut modifié pour correspondre aux appareils conventionnels.
- Effet de correction de Low Key Saturation modifié pour correspondre aux appareils conventionnels.

Remarque

La reconfiguration est requise si un réglage modifié est déjà utilisé.

Réglage par défaut de l'indicateur Counter/Duration modifié

Le réglage par défaut est modifié sur Counter pour correspondre aux appareils conventionnels.

Prise en charge de la carte mémoire XQD de série G et de série M

La série G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) et la série M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) ont été ajoutées aux cartes mémoire XQD prises en charge par le caméscope.

Remarque

L'adaptateur ExpressCard XQD facultatif (QDA-EX1) est nécessaire pour utiliser les cartes mémoire XQD.

Fonctions principales mises à jour dans la V1.10

Système de fichier

- UDF est maintenant sélectionnable comme mode d'enregistrement.
- La lecture de support enregistré avec le système de fichier UDF est pris en charge.

Fonction d'enregistrement par intervalles

- La fonction d'enregistrement par intervalles est prise en charge pour les formats vidéo suivants.
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Wichtige in V5.00 aktualisierte Funktionen

Vorsichtsmaßnahmen bei der Aktualisierung

Halten Sie bei der Aktualisierung die in der Aktualisierungsanleitung (4-688-215-33(1)) beschriebene Schrittfolge ein.

Unterstützung der HD-HDR-Funktion (HDR-Lizenzoption erforderlich)

Die HD-HDR-Funktion (Hybrid Log Gamma) wird jetzt durch Installation der HDR-Lizenz CBKZ-SLHL1 (Option) unterstützt.

Verwandte Menüpunkte

Operation >Base Setting

Paint >HDR Paint Setting

Maintenance >Option >Install Option

Unterstützung für „SR Live for HDR“-Metadaten (HDR-Lizenzoption erforderlich)

SDR Gain und andere wichtige Parameter können jetzt gleichzeitig als Metadaten in einer Datei aufgezeichnet werden, indem die HDR-Lizenz CBKZ-SLHL1 (Option) installiert wird. Diese Schlüsselparameter können auch in die SDI-Ausgabe eingebettet werden.

Die Verwendung von Metadaten ermöglicht konsistentere Lösungen von der Live-Kameraproduktion bis zur Dateiverarbeitung in der Postproduktion.

Unterstützung der Funktion Last Clip Delete

Der zuletzt aufgenommene Clip kann nun mithilfe eines belegbaren Schalters gelöscht werden, dem die Funktion Last Clip Delete zugewiesen wurde.

Verwandte Menüpunkte

Operation >Assignable Switch

Funktionsverbesserungen bei der Anzeige im Fokusvergrößerungsmodus

Die Erkennbarkeit der Fokusvergrößerung (Focus Mag) wurde verbessert, um Fehlbedienung zu vermeiden.

Unterstützung für Dateiübertragung von der Miniaturbildansicht aus

Originaldateien und Proxydateien können nun in der Miniaturbildansicht des Geräts zur Übertragung ausgewählt werden.

Verwandte Menüpunkte

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Menüunterstützung für Zertifizierungsaktualisierung

Zertifikate für den Network Client Mode können jetzt über das Webmenü importiert werden.

Auch Sony Ci-Zertifikate können jetzt über Upload Settings im Webmenü importiert werden.

Weitere Informationen zu Zertifikaten erhalten Sie von Ihrer Sony-Vertriebsvertretung.

Verwandte Menüpunkte

- System Settings >Network Client Mode Settings im Webmenü
- Der Bildschirm für die Einrichtung von „Sony Ci“ kann über Upload Settings im Webmenü aufgerufen werden

Verbesserte Passwortsicherheit

Für die Basisauthentifizierung verwendete Kennwörter müssen jetzt mindestens 8 Zeichen lang sein und zur Erhöhung der Sicherheit mindestens einen Buchstaben sowie mindestens eine Ziffer enthalten.

Verwandte Menüpunkte

Maintenance >Basic Authentication >Password

Hinweis

Die Kennwordeinstellung wird zurückgesetzt, wenn die Gerätefirmware von einer Version vor 5.0 auf Version 5.0 oder später aktualisiert wird. Konfigurieren Sie in diesem Fall das Kennwort erneut.

Sonstiges

Die Stabilität der Aufzeichnungs- und Startvorgänge wurde verbessert.

Wichtige in V4.12 aktualisierte Funktionen

- Wenn Proxy-Dateien automatisch hochgeladen werden, hat die Übertragung von neu hinzugefügten Dateien Vorrang vor Dateien mit Übertragungsfehlern.
- Die Stabilität des Aufzeichnungsvorgangs wurde verbessert.

Wichtige in V4.11 aktualisierte Funktionen

Das Problem, dass die Aufzeichnung nicht durchgeführt werden konnte, wenn im Konfigurationsmenü des Gerätes für „Date“ ein Schalttag (29. Februar) eingestellt wurde, wurde behoben.

Wichtige in V4.10 aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit den XQD-Speicherkarten QD-G120F und QD-G240F

Die QD-G120F und QD-G240F ergänzen das Sortiment an XQD-Speicherkarten, die mit dem Camcorder verwendet werden können. Der XQD ExpressCard-Adapter (QDA-EX1) ist erforderlich, um eine XQD-Speicherkarte nutzen zu können.

Wichtige in V4.00 aktualisierte Funktionen

Slow & Quick Motion nun einem belegbaren Schalter zuweisbar

Die Funktion zur Aktivierung/Deaktivierung von Slow & Quick Motion im Konfigurationsmenü kann nun über einen belegbaren Schalter bedient werden.

Sie kann den belegbaren Schaltern 1, 3, 4, 5 oder der Taste ONLINE zugewiesen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Laden von Planungsmetadaten von einer SDXC-Karte

Planungsmetadaten können nun mithilfe eines optionalen Medienadapters MEAD-SD02 von SDXC-Karten geladen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Planning Metadata

Hinweis

SD/SDHC-Karten können nicht verwendet werden.

Funktionsverbesserungen im Netzwerkclientmodus

Die Leistung des Streaming mit hoher Qualität mithilfe von QoS-Technologie von Sony wurde gesteigert. Außerdem werden nun die folgenden Bedienvorgänge über den Connection Control Manager unterstützt.

- Proxy-Aufzeichnung ein- bzw. ausschalten
- Fernbedienung der Kamera und Vorgänge mit ALL-Dateien

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Wichtige in V3.20 aktualisierte Funktionen

Unterstützung des Pure-Modus bei ATW (automatische Weißwertanpassung)

Es wurde Unterstützung für den Pure-Modus hinzugefügt. Im Vergleich zum vorhandenen Modus wird in diesem der Weißwert automatisch angepasst, um ein Ergebnis zu erzielen, das näher an den Grundfarben liegt und keine bläulichen oder rötlichen Reste aufweist.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >White Setting >ATW Mode

Unterstützung von SDHC-Speicherkarten (FAT)

Zusätzlich zu SDXC-Speicherkarten gehören nun auch SDHC-Speicherkarten zu den unterstützten SD-Karten, die mit dem optionalen Medienadapter MEAD-SD02 verwendet werden können.

Hinweise

- SDHC-Speicherkarten werden nur unterstützt, wenn das Dateisystem FAT und das Aufzeichnungsformat MPEG HD420 (HQ/SP) ist.
- Das FAT-Dateisystem wird nur auf SDHC-Speicherkarten unterstützt.

Konfigurationseinstellungen für Verbindungen mit Wi-Fi-Stationen

Die Einstellungen für Verbindungen mit WLAN-Access Points (Wi-Fi-Stationen) können nun nicht nur über das Webmenü des Geräts, sondern auch über das Konfigurationsmenü vorgenommen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Mehrfachregistrierung von Netzwerkclientmodi

Es können nun bis zu drei Einstellungen für den Netzwerkclientmodus registriert werden.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 bis Preset 3

„Proxy Recording Mode“ nun einem belegbaren Schalter zuweisbar

Operation >Proxy Rec Mode >Setting im Konfigurationsmenü kann nun über einen belegbaren Schalter bedient werden. Dadurch kann im Netzwerkclientmodus die Proxy-Aufzeichnung geschaltet werden, ohne das Menü zu verwenden.

Verbesserte Integration von drahtlosen Digitalempfängern

Die Energiesparfunktion der drahtlosen Digitalempfänger Sony DWR-S01D/S02D/S02DN kann nun vom Camcorder aus gesteuert werden.

- Die Funktion „TX Power Save“ kann einem belegbaren Schalter zugewiesen werden.
- Die Energiesparfunktion des drahtlosen Digitalempfängers kann mit der Bedienung des Schalters POWER des Camcorders verknüpft werden.
- Der Status des drahtlosen Digitalempfängers im Energiesparmodus wird im Sucher und auf dem LCD-Monitor angezeigt.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Hinweis

Die zur Unterstützung erforderlichen Firmwareversionen der drahtlosen Digitalempfänger von Sony sind nachfolgend aufgeführt.

DWR-S01D V1.16 oder später, S02D V1.07 oder später, S02DN V1.12 oder später

Wichtige in V3.10 aktualisierte Funktionen

Formatieren während der Aufnahme

Die im zweiten Kartensteckplatz geladene SxS-Speicherkarte kann jetzt auch während der Aufnahme formatiert werden.

Hinweise

- Während der Wiedergabe oder während der Skizzenbildeanzeige ist das Formatieren nicht möglich.
- Während des Formatierens ist keine Aufnahme auf der zweiten SxS-Speicherkarte möglich.

XDCAM air-Unterstützung

Wenn der Camcorder mit XDCAM air verbunden ist, wird jetzt HQ-Streaming unterstützt.

Hinweis

XDCAM air ist ein Cloud-Dienst, der von Sony bereitgestellt wird.

Wenn Sie diesen Dienst nutzen wollen, ist eine Registrierung erforderlich.

XDCAM air wird in einigen Regionen nicht bereitgestellt. Ausführliche Informationen zu den Gebieten, in denen der Dienst bereitgestellt wird, finden Sie auf der folgenden Website. <https://www.xdcam-air.com>

Einzelheiten zu der XDCAM air-Datenschutzrichtlinie finden Sie auf den folgenden Seiten.

– Geschäftsbedingungen

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– XDCAM air-Datenschutzrichtlinie

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Professional ID-Datenschutzrichtlinie
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
Einzelheiten erhalten Sie von Ihrer Sony Professional-Vertriebsvertretung.

Übertragung von Planungsmetadaten-Dateien

Planungsmetadaten-Dateien können jetzt mit der Einstellung „Auto upload (Proxy)“ übertragen werden.

Webmenü

In dem Menü, das durch Tippen auf  oben links im Webmenü-Bildschirm aufgerufen wird, wurde der Befehl „OSS Information“ hinzugefügt.

Wichtige in V3.00 aktualisierte Funktionen

Kopieren von Clips auf externe Speichermedien

Auf SxS-Speicherkarten aufgenommene Clips können auf Speichermedien oder auf mit dem Anschluss für externe Geräte verbundene USB-Medien kopiert werden.

Übertragen von Teilen der ursprünglichen, mit dem Camcorder aufgenommenen Dateien

Mithilfe der Anwendung „Content Browser Mobile“, Version 2.2 oder höher, können Sie In-/Out-Punkte in den ursprünglichen, mit dem Camcorder aufgenommenen Dateien angeben, um Teilbereiche auszuschneiden und zu übertragen.

Zusätzliche Formate für die Proxy-Aufnahme

Den für die Proxy-Aufnahme verfügbaren Formaten wurde HD Auto hinzugefügt.

Zusätzliche Streaming-Formate

Es können die Optionen mit verringerter Bitrate 0,3 Mbit/s und 0,2 Mbit/s ausgewählt werden.

Zusätzliche Elemente im Menü „User“

Einige Elemente aus dem Menü „File“ können dem Menü „User“ hinzugefügt werden.

Wichtige in V2.00 aktualisierte Funktionen

Autofokus-Funktion

Der Autofokus-Betrieb wird unterstützt, wenn das im Lieferumfang der PXW-X400KF oder PXW-X580KF enthaltene Objektiv angebracht ist.

Flashband-Korrekturfunktion

Eine Korrekturfunktion für Flashband-Phänomene wird unterstützt.

NFC-Funktion

Die NFC-Funktion wird unterstützt.

Verbesserte Starteigenschaften und Reaktion auf Bedienvorgänge

Die folgenden Eigenschaften im Zusammenhang mit dem Start des Geräts und der Reaktion auf Bedienvorgänge wurden verbessert.

- Die Zeitdauer vom Start bis zur Annahme von Tasten-Bedienvorgängen wurde verkürzt.
- Die Zeitdauer vom Start bis zur Bildausgabe im Sucher bzw. auf dem LCD-Monitor wurde verkürzt.
- Die Zeitdauer von der Betätigung des Netzschalters bis zum vollständigen Herunterfahren des Geräts wurde verkürzt.
- Die Reaktionszeit im Skizzenbildermodus wurde verbessert.

– Die Reaktionszeit bei der kontinuierlichen Aufzeichnung wurde verbessert.

Unterstützung für Aufzeichnung im XAVC Intra 1080-Format mit 59.94P/50P

Bei kontinuierlicher Aufzeichnung mit 59.94 oder 50 kann XAVC-I 1080P gewählt werden.

Verbesserungen bei der Funktion zur Aufzeichnung von Proxy-Daten

Die folgende Funktionen wurden verbessert.

- Sie können die Proxy-Aufzeichnung unabhängig starten und stoppen, indem Sie einem belegbaren Schalter die Funktion Proxy Rec Start/Stop zuweisen.
- Die Aufzeichnung von Proxydaten auf SDXC-Karten wird unterstützt.
- Die Aufzeichnung von Proxydaten im Network Client Mode wird unterstützt.

Erweiterung des Funktionsumfangs bei Verbindung mit dem drahtlosen Digitalempfänger DWR-S02D

RF-Leistungspegel und Energiesparmodus können für den sendenden Transmitter konfiguriert werden.

Detaillierte Einstellungen für verkabeltes LAN

Bei der Verbindung mit einem Netzwerk über ein LAN-Kabel sind detaillierte Einstellungen konfigurierbar.

Sperrfunktion für das Menü „User“

Eine Sperrfunktion für das Menü „User“ wurde hinzugefügt.

Verbesserung der Funktionen im Menü „Paint“

- DCC-Leistung (DCC Delay Time) bei Standardeinstellung an herkömmliche Geräte angepasst.
- Korrektoreffekt „Low Key Saturation“ an herkömmliche Geräte angepasst.

Hinweis

Wenn bereits eine veränderte Einstellung verwendet wird, ist eine Neukonfiguration erforderlich.

Standardeinstellung für Counter/Duration-Anzeige geändert

Die Standardeinstellung wurde zur Anpassung an herkömmliche Geräten zu „Counter“ geändert.

Unterstützung für XQD-Speicherkarten der G- und M-Serie

Die vom Camcorder unterstützten XQD-Speicherkarten wurden um die G-Serie (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) und die M-Serie (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) erweitert.

Hinweis

Um XQD-Speicherkarten zu verwenden, ist der optionale XQD-ExpressCard-Adapter (QDA-EX1) erforderlich.

Wichtige in V1.10 aktualisierte Funktionen

Dateisystem

- Als Aufnahmemodus kann jetzt UDF ausgewählt werden.
- Die Wiedergabe von Medien mit Aufzeichnungen im UDF-Dateisystem wird unterstützt.

Interval Rec-Funktion

– Die Intervall Rec-Funktion wird für die folgenden Videoformate unterstützt.
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Italiano

Funzioni principali aggiornate nella versione V5.00

Precauzioni per l'aggiornamento

Per l'aggiornamento, seguire la procedura descritta nella guida all'aggiornamento (4-688-215-43(1)).

Supporto della funzione HD-HDR (richiede licenza HDR opzionale)

La funzione HD-HDR (Hybrid Log Gamma) è ora supportata dopo l'installazione della licenza HDR CBKZ-SLHL1 (opzionale).

Voci di menu correlate

Operation >Base Setting
Paint >HDR Paint Setting
Maintenance >Option >Install Option

Supporto metadati "SR Live for HDR" (richiede licenza HDR opzionale)

L'installazione della licenza HDR CBKZ-SLHL1 (opzionale) consente ora di registrare simultaneamente su un file come metadati SDR Gain ed altri importanti parametri. Questi parametri possono anche essere incorporati nell'uscita SDI. L'impiego di metadati consente di migliorare l'uniformità e la ripetibilità nel tempo delle soluzioni dell'intero processo, dalla ripresa live fino all'elaborazione dei file in post-produzione.

Supporto della funzione Last Clip Delete

L'ultimo clip registrato può ora essere eliminato utilizzando un pulsante programmabile assegnato alla funzione Last Clip Delete.

Voci di menu correlate

Operation >Assignable Switch

Miglioramento nella visualizzazione in modalità di ingrandimento della messa a fuoco (Focus Mag)

È stata migliorata la visibilità dell'ingrandimento della messa a fuoco (Focus Mag) per evitare operazioni errate.

Trasferimento di file supportato dalla schermata delle miniature

La schermata delle miniature dell'unità consente adesso di selezionare e trasferire file originali e file proxy.

Voci di menu correlate

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Supporto dell'aggiornamento della certificazione tramite menu

È ora possibile importare i certificati di Network Client Mode tramite il menu web.

Anche i certificati Sony Ci possono ora essere importati tramite la voce Upload Settings del menu web.

Per informazioni dettagliate sui certificati rivolgersi al proprio rappresentante commerciale Sony.

Voci di menu correlate

- System Settings >Network Client Mode Settings nel menu web
- Schermata di configurazione "Sony Ci" accessibile tramite Upload Settings nel menu web

Miglioramento della protezione tramite password

Per maggior sicurezza, le password utilizzate per l'autenticazione di base devono ora avere una lunghezza minima di almeno 8 caratteri e contenere almeno un carattere alfabetico e un carattere numerico.

Voci di menu correlate

Maintenance >Basic Authentication >Password

Nota

La password viene eliminata durante l'aggiornamento del firmware dell'unità da una versione inferiore a 5.0 alla versione 5.0 o superiore. In questo caso, riconfigurare la password.

Altro

È stata migliorata la stabilità delle operazioni di registrazione e di avvio.

Funzioni principali aggiornate nella versione V4.12

- Quando file proxy sono caricati automaticamente, il trasferimento dei nuovi file ha precedenza sui file con un errore di trasferimento.
- La stabilità della modalità di registrazione è stata migliorata.

Funzioni principali aggiornate nella versione V4.11

Risolto il problema della mancata esecuzione di una registrazione se la data del 29 febbraio (in un anno bisestile) è stato configurato nel campo Data nel menu di impostazione dell'unità.

Funzioni principali aggiornate nella versione V4.10

Compatibile con le schede di memoria XQD QD-G120F e QD-G240F

Le QD-G120F e QD-G240F sono state aggiunte alla linea di schede di memoria XQD, utilizzabili con la videocamera. L'adattatore XQD ExpressCard (QDA-EX1) è richiesto per utilizzare una scheda di memoria XQD.

Funzioni principali aggiornate nella versione V4.00

Registrazione di un pulsante programmabile con Slow & Quick Motion

La funzione Slow & Quick Motion del menu di impostazione può ora essere commutata su On o Off mediante un pulsante programmabile.

Può essere assegnata ai pulsanti programmabili 1, 3, 4, 5 o al pulsante ONLINE.

Voci di menu correlate

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

Caricamento di metadati di pianificazione da scheda SDXC

È possibile ora caricare metadati di pianificazione da schede SDXC utilizzando un adattatore per supporti di memoria MEAD-SD02 opzionale.

Voci di menu correlate

Operation >Planning Metadata

Nota

Non è possibile utilizzare schede SD/SDHC.

Miglioramenti delle funzionalità della modalità client di rete

Sono state migliorate le prestazioni dello streaming di alta qualità tramite la tecnologia Sony QoS.

Connection Control Manager consente ora di eseguire le operazioni indicate di seguito.

- Attivazione o disattivazione della registrazione proxy.
- Comando a distanza della videocamera e operazioni sui file ALL

Voci di menu correlate

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Funzioni principali aggiornate nella versione V3.20

Supporto per modalità Pure per ATW (tracciamento automatico del bilanciamento del bianco)

È stato aggiunto il supporto per la modalità Pure che, in confronto con la modalità esistente, regola automaticamente il bilanciamento del bianco per ottenere un risultato più vicino ai colori primari senza residue colorazioni bluastre o rossastre.

Voci di menu correlate

Operation >White Setting >ATW Mode

Supporto di schede SDHC (FAT)

Oltre alle schede di memoria SDXC, sono ora supportate anche le schede di memoria SDHC, utilizzabili con l'adattatore opzionale MEAD-SD02.

Note

- Le schede di memoria SDHC sono supportate solo quando il file system è FAT e il formato di registrazione è MPEG HD420 (HQ/SP).
- Il file system FAT è supportato solo su schede di memoria SDHC.

Impostazioni di configurazione per la connessione a una stazione Wi-Fi

È ora possibile configurare le impostazioni di connessione a un punto di accesso LAN wireless (una stazione Wi-Fi) anche dal menu di configurazione dell'apparecchio e non solo dal menu Web.

Voci di menu correlate

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Registrazione di più modalità client di rete

Possono ora essere registrate fino a tre impostazioni diverse di modalità client di rete.

Voci di menu correlate

Maintenance >Network Client Mode >Da Preset 1 a Preset 3

Registrazione di Proxy Recording Mode su un pulsante programmabile

L'impostazione di Operation >Proxy Recording Mode >Setting nel menu di impostazione può ora essere selezionata tramite un pulsante programmabile.

Questo consente la selezione della registrazione proxy in modalità client di rete senza dover utilizzare il menu.

Migliorata integrazione con ricevitori wireless digitali

Le funzioni di risparmio energetico dei ricevitori wireless digitali Sony DWR-S01D/S02D/S02DN possono ora essere selezionate dalla videocamera.

- La funzione "TX Power Save" può ora essere assegnata a un pulsante programmabile.
- La funzione di risparmio energetico del ricevitore wireless digitale può ora essere sincronizzata con lo stato dell'interruttore di alimentazione della videocamera.
- Lo stato del ricevitore wireless digitale nella modalità di risparmio energetico è visualizzato nel mirino e sul monitor LCD.

Voci di menu correlate

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save
Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Nota

La versione di firmware del ricevitore wireless digitale Sony richiesta per il supporto è indicata di seguito.
DWR-S01D V1.16 o successiva, S02D V1.07 o successiva, S02DN V1.12 o successiva

Funzioni principali aggiornate nella versione V3.10

Formattazione durante la registrazione

È ora possibile formattare una scheda di memoria SxS anche durante la registrazione purché sia inserita nello slot non utilizzato per la registrazione.

Note

- Non è possibile eseguire la formattazione durante la riproduzione o mentre è visualizzata la schermata delle miniature.
- Durante la formattazione non è possibile avviare la registrazione sull'altra scheda SxS.

Supporto a XDCAM air

È ora supportato lo streaming ad elevata qualità collegando la videocamera a XDCAM air.

Nota


XDCAM air è un servizio cloud fornito da Sony.
Per utilizzare questo servizio, è richiesta la registrazione.
XDCAM air non viene fornito in alcune regioni. Per maggiori informazioni sulle aree in cui viene fornito in servizio, fare riferimento al seguente sito.
<https://www.xdcam-air.com>
Per informazioni dettagliate sulla protezione della privacy di XDCAM air visitare i siti Web elencati di seguito.
– Condizioni di servizio
https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

- Politica sulla privacy di XDCAM air
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>
 - Politica sulla privacy di Professional ID
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
- Per maggiori informazioni, contattare un rappresentante vendite Sony professionale.

Trasferimento di file di metadati di pianificazione

È ora possibile il trasferimento di file di metadati di pianificazione mediante l'impostazione dell'opzione "Auto upload (Proxy)".

Menu Web

La voce "OSS Information" è stata aggiunta alle altre voci visualizzabili toccando  in alto a sinistra nella schermata del menu Web.

Funzioni principali aggiornate nella versione V3.00

Copia di clip su supporti di archiviazione esterna

È possibile copiare i clip registrati sulle schede di memoria SxS su supporti di archiviazione o USB collegati al connettore del dispositivo esterno.

Trasferimento di parti di file originali registrati sul camcorder

Utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile" versione 2.2 o successiva, è possibile specificare i punti In/Out dai file originali registrati dal camcorder per ritagliare e trasferire le parti ritagliate.

Formati di registrazione proxy aggiuntivi

È stato aggiunto HD Auto ai formati di registrazione proxy configurabili.

Formati di streaming aggiunti

È possibile selezionare opzioni di bit rate basso da 0,3 Mbps e 0,2 Mbps.

Voci del menu User aggiunte

È possibile aggiungere alcune voci del menu File al menu User.

Funzioni principali aggiornate nella versione V2.00

Funzione di messa a fuoco automatica

La messa a fuoco automatica è supportata quando è montato l'obiettivo fornito con i modelli PXW-X400KF o PXW-X580KF.

Funzione di correzione della flashband

È disponibile una funzione di correzione del fenomeno di flashband.

Funzione NFC

La funzione NFC è supportata.

Migliorate prestazioni di avvio e di risposta ai comandi

Sono state migliorate le seguenti prestazioni di avvio e di risposta ai comandi:

- È stato ridotto il tempo intercorrente dall'avvio all'accettazione dei comandi dai tasti.

- È stato ridotto il tempo intercorrente dall'avvio alla visualizzazione di immagini sul mirino o monitor LCD.
- È stato ridotto il tempo intercorrente dallo spostamento su OFF dell'interruttore di alimentazione e lo spegnimento totale dell'apparecchio.
- È stata migliorata la risposta nella modalità miniature.
- È stata migliorata la risposta operativa nella modalità di registrazione continua.

Supporto del formato di registrazione XAVC Intra 1080 59.94P/50P

Il formato XAVC-I 1080P è selezionabile quando la registrazione continua è impostata su 59.94 o 50.

Miglioramento della funzione di registrazione dati proxy

Sono stati apportati i seguenti miglioramenti alla funzione:

- È possibile avviare ed arrestare la registrazione proxy indipendentemente assegnando la funzione Proxy Rec Start/Stop a un interruttore programmabile.
- È supportata la registrazione di dati proxy su schede SDXC.
- È supportata la registrazione di dati proxy in Network Client Mode.

Ampliamento delle funzioni con la connessione a registratore wireless digitale DWR-S02D

Le impostazioni di livello di potenza RF e di risparmio energetico sono configurabili per il trasmettitore di broadcast.

Impostazioni dettagliate della LAN cablata

Sono configurabili impostazioni dettagliate per il collegamento alla rete mediante cavo LAN.

Funzione di blocco del menu User

È stata aggiunta una funzione di blocco del menu User.

Miglioramenti della funzione Paint

- È stato modificato il comportamento della funzione DCC (DCC Delay Time) nelle impostazioni predefinite per uniformarsi con il funzionamento di dispositivi convenzionali.
- Sono stati modificati gli effetti della correzione Low Key Saturation per uniformarsi con il funzionamento di dispositivi convenzionali.

Nota

Se si sta già utilizzando un'impostazione modificata è necessario eseguire una riconfigurazione.

Modifica delle impostazioni predefinite dell'indicatore Counter/Duration

Le impostazioni predefinite sono ora configurate su Counter per uniformarsi con i dispositivi convenzionali.

Supporto della scheda di memoria XQD serie G e serie M

Serie G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) e serie M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) aggiunte alle schede di memoria XQD supportate dal camcorder.

Nota

Per utilizzare le schede di memoria XQD è necessario l'adattatore ExpressCard XQD (QDA-EX1) opzionale.

Funciones principales actualizadas en la versión V1.10

File system

- È ora possibile selezionare il file system UDF come modalità di registrazione.
- È ora supportata la riproduzione di supporti registrati con un file system UDF.

Funcione Interval Rec

- È supportata la funzione Interval Rec per i formati video elencati di seguito.
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Español

Funciones principales actualizadas en la versión 5.00

Precauciones al actualizar

Cuando realice la actualización, siga los pasos descritos en la guía de actualización (4-688-215-53(1)).

Compatibilidad de la función HD-HDR (se requiere la licencia HDR opcional)

Ahora la función HD-HDR (Hybrid Log Gamma) es compatible instalando la licencia CBKZ-SLHL1 HDR (opcional).

Elementos del menú relacionados

Operation >Base Setting
Paint >HDR Paint Setting
Maintenance >Option >Install Option

Compatibilidad de los datos de "SR Live for HDR" (se requiere la licencia HDR opcional)

Ahora SDR Gain y otros parámetros básicos se pueden grabar simultáneamente en un archivo como metadatos instalando la licencia CBKZ-SLHL1 HDR (opcional). Estos parámetros clave también se pueden integrar en la salida SDI.

El uso de metadatos permite soluciones más consistentes de la producción de cámara Live al procesamiento de archivos en posproducción.

Asistencia para la función Last Clip Delete

Ahora el último clip grabado se puede eliminar a través de un interruptor asignable al que se haya asignado la función Last Clip Delete.

Elementos del menú relacionados

Operation >Assignable Switch

Mejoras en la función de visualización del modo de ampliación del enfoque (Focus Mag)

Se ha mejorado la visibilidad de la ampliación del enfoque (Focus Mag) para evitar su funcionamiento incorrecto.

Se admite la transferencia de archivos desde la pantalla de miniaturas

Ahora es posible seleccionar archivos originales y archivos proxy en la pantalla de miniaturas de la unidad.

Elementos del menú relacionados

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Compatibilidad del menú de actualización de certificaciones

Ahora los certificados de Network Client Mode se pueden importar mediante el menú web.

Ahora los certificados de Sony Ci también se pueden importar mediante Upload Settings en el menú web.

Para obtener más información acerca de los certificados, póngase en contacto con su representante de ventas de Sony.

Elementos del menú relacionados

- System Settings >Network Client Mode Settings en el menú web
- La pantalla de configuración es accesible desde Upload Settings en el menú web

Mejoras de seguridad de las contraseñas

Ahora las contraseñas usadas para la autenticación básica deben tener 8 caracteres o más y contener al menos un carácter alfabético y uno numérico, respectivamente, para lograr una mayor seguridad.

Elementos del menú relacionados

Maintenance >Basic Authentication >Password

Nota

El ajuste de la contraseña se restablece cuando se actualiza el firmware de la unidad de una versión anterior a la 5.0 a la versión 5.0 o posterior. En tal caso, vuelva a configurar la contraseña.

Otro

Se han mejorado la estabilidad de la grabación y las operaciones de inicio.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.12

- Cuando los archivos proxy se cargan automáticamente, la transferencia de los archivos añadidos nuevos tiene prioridad con respecto a los archivos con error de transferencia.
- La estabilidad de la operación de grabación se ha mejorado.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.11

Se ha resuelto el problema por el que no se podía realizar la grabación cuando se configuraba un día bisesto (29 de febrero) para Date en el menú de configuración de la unidad.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.10

Compatible con tarjetas de memoria XQD QD-G120F y QD-G240F

QD-G120F y QD-G240F se han añadido al conjunto de tarjetas de memoria XQD que pueden utilizarse con la videocámara. El adaptador XQD ExpressCard (QDA-EX1) es necesario para utilizar una tarjeta de memoria XQD.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.00

Registro de interruptor asignable de Slow & Quick Motion

La configuración de activación/desactivación de Slow & Quick Motion en el menú de configuración ahora se puede realizar utilizando un interruptor asignable.

Se puede registrar en el interruptor asignable 1, 3, 4, 5 o el botón ONLINE.

Elementos de menú relacionados

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

Carga de metadatos de planificación desde una tarjeta SDXC

Los metadatos de planificación se pueden cargar desde las tarjetas SDXC mediante un adaptador de soportes MEAD-SD02 opcional.

Elementos de menú relacionados

Operation >Planning Metadata

Nota

No se pueden utilizar tarjetas SD/SDHC.

Mejoras de funciones en el modo de cliente de red

El rendimiento de transmisiones de alta calidad con la tecnología Sony QoS se ha mejorado.

Además, ahora las siguientes operaciones son compatibles con Connection Control Manager.

- Activación/desactivación de la grabación proxy
- Control remoto de la cámara y todas las operaciones de archivos ALL

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Funciones principales actualizadas en la versión 3.20

Asistencia para el modo Pure para ATW (localización automática del balance de blancos)

Asistencia añadida para el modo Pure que, en comparación con el modo existente, ajusta automáticamente el balance de blancos para obtener un resultado más cercano a los colores primarios sin colores residuales azulados o rojizos.

Elementos de menú relacionados

Operation >White Setting >ATW Mode

Compatibilidad con tarjetas de memoria SDHC (FAT)

Ahora, además de con las tarjetas de memoria SDXC, se ofrece compatibilidad con las SDHC, que se pueden utilizar con el Adaptador de soporte MEAD-SD02 opcional.

Notas

- Solo existirá compatibilidad con las tarjetas de memoria SDHC cuando el sistema de archivos sea FAT y el formato de grabación sea MPEG HD420 (HQ/SP).
- El sistema de archivos FAT solo es compatible con tarjetas de memoria SDHC.

Configuración para la conexión con una estación Wi-Fi

Ahora se pueden configurar los ajustes de conexión de punto de acceso LAN (estación Wi-Fi) desde el menú de configuración de la unidad, no solo desde el menú web.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Registro múltiple del modo cliente de red

Ahora se pueden registrar hasta tres configuraciones del modo de cliente de red.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network Client Mode >De Preset 1 a Preset 3

Registro del interruptor asignable de Proxy Recording Mode

Ahora se puede cambiar el ajuste Operation >Proxy Recording Mode >Setting en el menú de configuración con un interruptor asignable.

Eso permite cambiar la grabación proxy en el modo de cliente de red sin utilizar el menú.

Integración mejorada con receptores inalámbricos digitales

Ahora la función de ahorro de energía de los receptores inalámbricos digitales Sony DWR-S01D/S02D/S02DN se puede controlar desde la videocámara.

- La función "TX Power Save" se puede asignar a un interruptor asignable.
- Ahora la función de ahorro de energía de los receptores inalámbricos digitales se puede vincular con el uso del interruptor POWER de la videocámara.
- El estado del receptor inalámbrico digital en el modo de ahorro de energía se muestra en el visor y el monitor LCD.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save
Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Nota

A continuación se indica la versión del firmware del receptor inalámbrico digital Sony que se requiere para la compatibilidad. DWR-S01D V1.16, S02D V1.07 o posterior, S02DN V1.12 o posterior

Funciones principales actualizadas en la versión 3.10

Formato durante la grabación

Incluso durante la grabación, ahora se puede formatear la tarjeta de memoria SxS cargada en la otra ranura de la tarjeta.

Notas

- No se puede formatear durante la reproducción o cuando se muestra la pantalla de miniaturas.
- Durante el formateo, no se puede iniciar la grabación en la tarjeta de memoria SxS.

Compatibilidad con XDCAM air

La transmisión de alta calidad ahora es compatible al conectar el camcorder a XDCAM air.

Nota

XDCAM air es un servicio en la nube prestado por Sony. Para utilizar este servicio, es necesario registrarse. XDCAM air no está disponible en algunas regiones. Para obtener más información sobre las zonas en las que el servicio está disponible, visite el sitio web indicado a continuación. <https://www.xdcam-air.com>

Para obtener más información acerca de la política de privacidad de XDCAM air, visite los sitios siguientes.

– Términos de servicio

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Política de privacidad de XDCAM air

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Política de privacidad de Professional ID


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Para obtener más información, póngase en contacto con el responsable de ventas profesional de Sony.

Transferencia de archivos de metadatos de planificación

Los archivos de metadatos de planificación pueden transferirse ahora configurando "Auto upload (Proxy)".

Menú web

Se ha añadido "OSS Information" a los elementos del menú mostrados tocando  en la parte superior izquierda de la pantalla del menú web.

Funciones principales actualizadas en la versión 3.00

Copia de clips a soportes de almacenamiento externos

Los clips grabados en tarjetas de memoria SxS se pueden copiar a un soporte de almacenamiento o a un dispositivo USB que esté conectado al conector del dispositivo externo.

Transferencia de partes de los archivos originales grabados en el camcorder

Si utiliza la versión 2.2 o posterior de la aplicación "Content Browser Mobile", podrá especificar los puntos de In/Out en los archivos originales grabados por el camcorder para cortar y transferir las partes cortadas.

Formatos de grabación proxy añadidos

HD Auto se ha añadido a los formatos de grabación proxy que se pueden configurar.

Formatos de transmisión por secuencias añadidos

Es posible seleccionar entre dos opciones de velocidad de bits baja: 0,3 Mbps y 0,2 Mbps.

Elementos del menú User añadidos

Algunos elementos del menú File se pueden añadir al menú User.

Funciones principales actualizadas en la versión 2.00

Función de enfoque automático

Es compatible con la operación del enfoque automático cuando el objetivo suministrado con el PXW-X400KF o PXW-X580KF está acoplado.

Función de corrección de franjas del flash

Es compatible con la función de corrección para los fenómenos de franjas del flash.

Función NFC

Es compatible con la función NFC.

Rendimiento de inicio y respuesta de operación mejorados

Se han mejorado los siguientes elementos relacionados con la respuesta de operación y el rendimiento de inicio.

– Se ha reducido el tiempo transcurrido desde el inicio hasta que se pueden utilizar los botones.

– Se ha reducido el tiempo transcurrido desde el inicio hasta que el visor/monitor LCD muestra la imagen.

– Se ha reducido el tiempo transcurrido desde que se acciona el botón de apagado hasta que la cámara se apaga por completo.

– Se ha mejorado la respuesta en el modo de imágenes en miniatura.

– Se ha mejorado la respuesta para la operación de grabación continua.

Compatibilidad con el formato de grabación XAVC Intra 1080 59.94P/50P

Se puede seleccionar el formato XAVC I 1080P cuando la grabación continua es 59.94 o 50.

Mejoras en la función de grabación de datos proxy

Se han mejorado las siguientes funciones.

– Puede iniciar y detener la grabación proxy independientemente asignando la función Proxy Rec Start/Stop a un interruptor asignable.

– Es compatible la grabación de datos proxy en tarjetas SDXC.

– Es compatible la grabación de datos proxy en el Network Client Mode.

Expansión de funciones al conectar con el receptor digital inalámbrico DWR-S02D

El ajuste del nivel de energía RF y el ahorro de energía se pueden configurar mediante un transmisor de retransmisión.

Ajustes detallados de una LAN cableada

Los ajustes detallados se pueden configurar al conectar a una red utilizando un cable LAN.

Función de bloqueo del menú User

Se ha añadido una función de bloqueo para el menú User.

Mejoras en la función Paint

– Se ha modificado el rendimiento de DCC (DCC Delay Time o, en español, velocidad de respuesta a los cambios del vídeo) con ajuste predeterminado para adaptarse a los dispositivos convencionales.

– Se ha modificado el efecto de corrección Low Key Saturation (saturación de clave baja) para adaptarse a los dispositivos convencionales.

Nota

Es necesario realizar una reconfiguración si ya se está utilizando un ajuste modificado.

Modificación del ajuste predeterminado del indicador Counter/Duration

Se ha cambiado el ajuste predeterminado a Counter (contador) para adaptarse a los dispositivos convencionales.

兼容性 与 内存卡兼容性

兼容性 与 内存卡兼容性

La serie G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) y la serie M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) se han añadido a las tarjetas de memoria XQD compatibles con el camcorder.

Nota

El XQD ExpressCard Adaptor (QDA-EX1) opcional es necesario para poder utilizar las tarjetas de memoria XQD.

Funciones principales actualizadas en la versión 1.10

Sistema de archivos

- Ahora se puede seleccionar el modo de grabación UDF.
- La reproducción de contenidos grabados con un sistema de archivos UDF es compatible.

Función Interval Rec

- La función Interval Rec (grabación por intervalos) es compatible con los siguientes formatos de vídeo. XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

中文

V5.00 中更新的主要功能

升级时的注意事项

进行升级时，请按照升级指南 (4-688-215-63(1)) 中介绍的步骤进行操作。

支持 HD-HDR 功能 (需要 HDR 许可证选件)

通过安装 CBKZ-SLHL1 HDR License (选件)，现在支持 HD-HDR (Hybrid Log Gamma) 功能。

相关菜单项目

操作 > 基本设定
绘图 > HDR 绘图设置
维护 > 选件 > 安装选件

支持 “SR Live for HDR” 元数据 (需要 HDR 许可证选件)

通过安装 CBKZ-SLHL1 HDR License (选件)，现在可以将 SDR 增益和其他关键参数作为元数据同时记录到文件中。这些关键参数也可以嵌入到 SDI 输出中。使用元数据让包括实时摄像机制作和后期制作中的文件处理在内的解决方案能够更一致。

支持删除最后片段功能

现在，可使用分配了删除最后片段功能的可指定开关删除最后录制的片段。

相关菜单项目

操作 > 可指定开关

改进对焦放大镜 (Focus Mag) 模式显示功能

改进了对焦放大镜 (Focus Mag) 的可视性，避免错误操作。

支持从缩略图屏幕进行文件传输

现在，可以在本机的缩略图屏幕上选择要传输的原始文件和代理文件。

相关菜单项目

缩略图 > 传输片段
缩略图 > 传输片段 (Proxy)

认证更新菜单支持

现在可以使用 Web 菜单导入网络客户端模式证书。现在还可以使用 Web 菜单中的 “Upload Settings” 导入 Sony Ci 证书。

有关证书的详情，请联系 Sony 销售代表。

相关菜单项目

- Web 菜单中的 “System Settings > Network Client Mode Settings”
- 可通过 Web 菜单中的 “Upload Settings” 访问 “Sony Ci” 设置屏幕

密码安全性增强

为增强安全性，用于基本验证的密码现在必须为 8 个字符或更长，且至少分别包含一个字母字符和一个数字字符。

相关菜单项目

维护 > 基本验证 > 密码

注意

将本机的固件版本从 5.0 之前的版本升级到 5.0 或更高版本时，会重置密码设置。在这种情况下，请重新配置密码。

其他

改善了记录和启动操作的稳定性。

V4.12 中更新的主要功能

- 当自动上传代理文件时，新添加文件的传输级别优先于发生传输错误的文件。
- 提高了记录操作的稳定性。

V4.11 中更新的主要功能

解决了在本机的设置菜单中为日期配置闰日 (2 月 29 日) 时无法进行记录的问题。

V4.10 中更新的主要功能

兼容 QD-G120F 和 QD-G240F XQD 存储卡

QD-G120F 和 QD-G240F 已加入到 XQD 存储卡产品阵容中，可以在摄像机中使用。使用 XQD 存储卡需要有 XQD ExpressCard 适配器 (QDA-EX1)。

V4.00 中更新的主要功能

慢 & 快动作录制可指定开关注册

现在可使用可指定开关切换设置菜单中的 “慢 & 快动作录制” 的开 / 关设置。

可以在可指定开关 1、3、4、5 或 ONLINE 键中注册。

相关菜单项目

操作 > 录制功能 > 慢 & 快动作录制
操作 > 可指定开关

从 SDXC 卡加载计划元数据

现在可使用选购的 MEAD-SD02 介质适配器从 SDXC 卡加载计划元数据。

相关菜单项目

操作 > 计划元数据

注意

无法使用 SD/SDHC 卡。

网络客户端模式中的功能改进

使用 Sony QoS 技术的高质量流媒体的性能得到了改善。此外，现在支持使用 Connection Control Manager 进行以下操作。

- 打开 / 关闭 Proxy 录制。
- 摄像机遥控控制和全部文件操作

相关菜单项目

维护 > 网络客户端模式 > 预设 1/2/3
可记录 Proxy 的 NCM
摄像机控制
摄像机设置

V3.20 中更新的主要功能

支持用于 ATW（自动跟踪白平衡）的纯色模式

增加了对纯色模式的支持，与现有模式相比，纯色模式可自动调整白平衡，获得更贴近原色的结果，而不会残留偏蓝或偏红的颜色。

相关菜单项目

操作 > 白平衡设置 > ATW 模式

支持 SDHC 存储卡 (FAT)

除了 SDXC 存储卡外，现在还支持 SDHC 存储卡，可以搭配可选的 MEAD-SD02 介质适配器来使用 SD 存储卡。

注意

- 仅当文件格式为 FAT 且录制格式为 MPEG HD420 (HQ/SP) 时支持 SDHC 存储卡。
- 仅 SDHC 存储卡支持 FAT 文件系统。

配置连接 Wi-Fi 站点的设置

现在可以从本机的设置菜单配置无线 LAN 接入点 (Wi-Fi 站点) 连接设置，而不是只能通过网络菜单。

相关菜单项目

维护 > 网络 > Wi-Fi 站点详细内容设置

网络客户端模式多重注册

现在最多可注册三个网络客户端模式设置。

相关菜单项目

维护 > 网络客户端模式 > 预设 1 到预设 3

Proxy 录制模式可指定开关注册

现在可使用可指定开关切换设置菜单中的“操作 > Proxy 录制模式 > 设置”。

如此一来，在网络客户端模式下不使用菜单也能切换 Proxy 录制。

改进了与数字无线接收器的集成

现在可以从摄像机控制 Sony DWR-S01D/S02D/S02DN 数字无线接收器的节电功能。

- 可以将“TX 节电”功能指定给可指定开关。
- 数字无线接收器的节电功能可以与摄像机电源开关的操作相关联。
- 数字无线接收器的节电模式的状态会显示在寻像器和 LCD 显示器中。

相关菜单项目

维护 > WRR 设置 > TX 节电
维护 > WRR 设置 > TX- 摄录一体机电源同步

注意

Sony 数字无线接收器需要安装如下固件版本才能支持此功能。
DWR-S01D V1.16 或更高版本、S02D V1.07 或更高版本、S02DN V1.12 或更高版本

V3.10 中更新的主要功能

在记录的同时格式化

现在即使在录制期间，也可以格式化其他卡插槽中插入的 SxS 存储卡。

注意

- 在播放期间和显示缩略图屏幕时，不支持格式化。
- 在格式化期间，无法开始录制到其他 SxS 存储卡。

支持 XDCAM air

通过将摄像机连接到 XDCAM air，现在支持高质量流媒体。

注意

XDCAM air 是 Sony 提供的云服务。若要使用此服务，需要进行注册。某些地区不提供 XDCAM air。有关提供此服务地区的详细信息，请参阅以下网站。

<https://www.xdcam-air.com>

有关 XDCAM air 隐私政策的详细信息，请访问下列网址。

– 服务条款

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– XDCAM air 隐私政策

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Professional ID 隐私政策

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

有关详细信息，请联系 Sony 专业销售代表。

传输计划元数据文件

现在通过设置“自动上传 (Proxy)”，可以传输计划元数据文件。

Web 菜单

“OSS 信息”已添加到点击 Web 菜单屏幕左上方的  而显示的菜单项目中。

V3.00 中更新的主要功能

将片段复制到外部存储媒体

SxS 存储卡上录制的片段可复制到连接到外部设备接口的存储媒体或 USB 媒体。

传输摄像机上录制的原始文件的一部分

使用“Content Browser Mobile”应用程序 2.2 版或更高版本，便可以在摄像机记录的原始文件中指定要裁切的 In/Out 点并传输裁切部分。

增加了代理记录格式

可配置的代理记录格式阵容中新增了 HD Auto 格式。

增加了流媒体格式

可选择 0.3 Mbps 和 0.2 Mbps 的低比特率选项。

增加了用户菜单项目

可将“文件”菜单中的某些项目添加到“用户”菜单。

V2.00 中更新的主要功能

自动对焦功能

安装 PXW-X400KF 或 PXW-X580KF 随附的镜头后，支持自动对焦操作。

闪光带校正功能

此功能可对闪光带现象进行校正。

NFC 功能

支持 NFC 功能。

改善了启动性能和操作响应

此版本改善了下列启动性能和操作响应项目。

- 缩短了从启动到键控制的时间。
- 缩短了从启动到寻像器 / LCD 监视器上输出图像的时间。
- 缩短了从关闭电源开关到完全关机所用的时间。
- 改善了缩略图模式的响应。
- 改善了连续记录操作的响应。

支持 XAVC Intra 1080 59.94P/50P 格式记录

当系统频率为 59.94 或 50 时，可选择 XAVC-I 1080P。

改善了代理数据记录功能

此版本改善了下列功能。

- 可将 Proxy 录制开始 / 停止功能分配给一个可指定开关，用于单独开始和停止代理记录。
- 支持对 SDXC 卡进行代理数据记录。
- 支持在网络客户端模式进行代理数据记录。

连接 DWR-S02D 数字无线接收器后的功能扩展

可为广播发射器配置 RF 功率电平设置和省电模式。

有线 LAN 的详细设置

通过 LAN 电缆连接到网络时，可配置详细设置。

用户菜单锁定功能

增加了用户菜单锁定功能。

绘图功能改进

- 修改了 DCC 性能（DCC 延迟时间）的默认设置，使之更符合传统设备。
- 修改了暗色调饱和度校正效果，使之更符合传统设备。

注意

如果使用了经过修改的设置，需要重新进行配置。

修改了计数器 / 持续时间指示的默认设置

默认设置改成了“计数器”，使之更符合传统设备。

支持 G 系列和 M 系列 XQD 存储卡

在摄像机支持的 XQD 存储卡阵容中增加了 G 系列（QD-G32E、QD-G64E、QD-G128E）和 M 系列（QD-M32A、QD-M64A、QD-M128A）。

注意

使用 XQD 存储卡需要有选购的 XQD ExpressCard 适配器（QDA-EX1）。

V1.10 中更新的主要功能

文件系统

- 当前可选择 UDF 作为记录模式。
- 支持播放使用 UDF 文件系统记录的介质。

间隔录制功能

- 下列视频格式支持间隔录制功能。
 - XAVC-L 50 1080i、XAVC-L 35 1080i、
 - XAVC-L 25 1080i

Русский

Основные функции, обновленные в версии V5.00

Меры предосторожности при обновлении

При обновлении следуйте шагам, приведенным в руководстве по обновлению (4-688-215-73(1)).

Поддержка функции HD-HDR (требуется дополнительно приобретаемая лицензия HDR)

Функция HD-HDR (Hybrid Log Gamma) теперь поддерживается путем установки лицензии CBKZ-SLHL1 HDR (приобретается дополнительно).

Соответствующие пункты меню

Operation > Base Setting
Paint > HDR Paint Setting
Maintenance > Option > Install Option

Поддержка метаданных “SR Live for HDR” (требуется дополнительно приобретаемая лицензия HDR)

SDR Gain и другие ключевые параметры теперь можно записывать одновременно в файл как метаданные путем установки лицензии CBKZ-SLHL1 HDR (приобретается)

дополнительно). Эти ключевые параметры можно также включать в SDI-вывод.

Использование метаданных обеспечивает более последовательные решения начиная с записи на камеру в реальном времени вплоть до обработки файлов на завершающем этапе.

Поддержка функции Last Clip Delete

Последний записанный клип теперь можно удалять с помощью назначаемого переключателя, которому назначена функция Last Clip Delete.

Соответствующие пункты меню

Operation > Assignable Switch

Улучшения функции отображения в режиме лупы фокусировки

Улучшенная видимость в режиме лупы фокусировки (Focus Mag) во избежание ошибок в работе.

Передача файлов поддерживается с экрана эскизов

Исходные файлы и прокси-файлы для передачи теперь можно выбрать на экране эскизов устройства.

Соответствующие пункты меню

Thumbnail > Transfer Clip

Thumbnail > Transfer Clip(Proxy)

Поддержка меню обновления сертификата

Сертификаты Network Client Mode теперь можно импортировать при помощи веб-меню.

Сертификаты Sony Ci можно также импортировать при помощи команды Upload Settings в веб-меню.

Для получения информации о сертификатах обратитесь к представителю отдела продаж Sony.

Соответствующие пункты меню

- System Settings > Network Client Mode Settings в веб-меню
- Экран настройки "Sony Ci" при обращении к команде Upload Settings в веб-меню

Усиление защиты при помощи пароля

Теперь для усиления защиты пароли, используемые для базовой аутентификации, должны быть не менее 8 символов и содержать по меньшей мере один алфавитный символ и один цифровой символ.

Соответствующие пункты меню

Maintenance > Basic Authentication > Password

Примечание

Заданный пароль сбрасывается при обновлении микропрограммного обеспечения устройства с версии ниже 5.0 до версии 5.0 или новее. В этом случае настройте пароль заново.

Другие

Улучшены стабильность записи и операции запуска.

Основные функции, обновленные в версии V4.12

- Когда прокси-файлы загружаются автоматически, передача вновь добавленных файлов имеет приоритет над файлами с ошибкой передачи.
- Улучшена стабильность операции записи.

Основные функции, обновленные в версии V4.11

Решена проблема, когда запись не могла быть выполнена при задании даты 29 февраля для пункта Date в меню настройки устройства.

Основные функции, обновленные в версии V4.10

Совместима с картами памяти XQD QD-G120F и QD-G240F

Карты QD-G120F и QD-G240F добавлены к линейке карт памяти XQD, которые можно использовать с этой видеокамерой. Для использования карты памяти XQD требуется адаптер XQD ExpressCard (QDA-EX1).

Основные функции, обновленные в версии V4.00

Регистрация назначаемого переключателя Slow & Quick Motion

Пункты включения и выключения Slow & Quick Motion в меню настройки теперь можно переключать с помощью назначаемого переключателя.

Это можно зарегистрировать для настраиваемого переключателя 1, 3, 4, 5 или кнопки ONLINE.

Связанные пункты меню

Operation > Rec Function > Slow & Quick Motion

Operation > Assignable SW

Загрузка метаданных планирования с карты SDXC

Метаданные планирования теперь можно загружать с карт памяти SDXC с использованием дополнительно приобретаемого адаптера для носителей MEAD-SD02.

Связанные пункты меню

Operation > Planning Metadata

Примечание

Карты SD/SDHC использовать нельзя.

Улучшения функций в режиме сетевого клиента

Повышена производительность потоковой передачи высокого качества с использованием технологии Sony QoS. Кроме того, теперь поддерживаются следующие операции с использованием Connection Control Manager.

- Включение и выключение записи прокси
- Дистанционное управление камерой и операции с файлом ALL

Связанные пункты меню

Maintenance > Network Client Mode > Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Основные функции, обновленные в версии V3.20

Поддержка режима Pure для ATW (автоматического отслеживания баланса белого)

Добавлена поддержка для режима Pure, который, в отличие от существующего режима, автоматически регулирует баланс белого для достижения результата, более близкого к основным цветам без остаточных синеватых или красноватых оттенков.

Связанные пункты меню

Operation >White Setting >ATW Mode

Поддержка карт памяти SDHC (FAT)

Теперь в число поддерживаемых SD-карт помимо карт памяти SDXC также входят карты памяти SDHC. Для их использования требуется дополнительно приобретаемый адаптер для носителей MEAD-SD02.

Примечания

- Карты памяти SDHC поддерживаются только при использовании файловой системы FAT, когда выбран формат записи MPEG HD420 (HQ/SP).
- Файловая система FAT поддерживается только на картах памяти SDHC.

Настройка параметров для подключения к станции Wi-Fi

Настройки подключения к точке доступа беспроводной ЛВС (станция Wi-Fi) теперь можно задать из меню настройки устройства, а не только из веб-меню.

Связанные пункты меню

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Регистрация нескольких режимом сетевого клиента

Теперь можно зарегистрировать до трех настроек режима сетевого клиента.

Связанные пункты меню

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1–Preset 3

Регистрация назначаемого переключателя режима Proxy Recording Mode

Пункт Operation >Proxy Recording Mode >Setting меню настройки теперь можно переключать с помощью назначаемого переключателя.

Это позволяет переключать запись прокси-файлов в режиме сетевого клиента без использования меню.

Улучшенная интеграция с цифровыми беспроводными приемниками

Теперь с видеокамеры можно управлять функцией экономии энергии цифровых беспроводных приемников Sony DWR-S01D/S02D/S02DN.

- Функцию "TX Power Save" можно задать назначаемому переключателю.
- Функцию экономии энергии цифрового беспроводного приемника можно связать с положением переключателя питания видеокамеры.
- Состояние цифрового беспроводного приемника в режиме экономии энергии отображается в видеоскелете и на ЖК мониторе.

Связанные пункты меню

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Примечание

Необходимая для поддержки версия микропрограммного обеспечения цифрового беспроводного приемника Sony приведена ниже.

DWR-S01D V1.16 или более поздняя, S02D V1.07 или более поздняя, S02DN V1.12 или более поздняя

Основные функции, обновленные в версии V3.10

Форматирование во время записи

Теперь карту памяти SxS, загруженную в другое гнездо для карты памяти, можно форматировать даже во время записи.

Примечания

- Форматирование не поддерживается во время воспроизведения или при отображении экрана эскизов.
- Во время форматирования запустить запись на другую карту памяти SxS невозможно.

Поддержка сервиса XDCAM air

Теперь поддерживается потоковая передача высокого качества путем подключения видеокамеры к сервису XDCAM air.

Примечание

XDCAM air — облачная служба, предоставляемая Sony. Для использования этой службы требуется регистрация. XDCAM air не предоставляется в некоторых регионах. Для получения дополнительной информации о регионах предоставления этой службы см. следующий веб-сайт. <https://www.xdcam-air.com>

Сведения о политике конфиденциальности в отношении XDCAM air приведены на следующих сайтах.

– Условия обслуживания

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Политика конфиденциальности в отношении XDCAM air <https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Политика конфиденциальности в отношении профессионального идентификатора <https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>


За подробной информацией обращайтесь в торговое представительство, занимающееся профессиональными продуктами корпорации Sony.

Передача файлов Planning Metadata

Задав функцию "Auto upload (Proxy)", теперь можно передавать файлы Planning Metadata.

Веб-меню

К элементам меню, которые отображаются касанием значка

 в верхнем левом углу экрана веб-меню, добавлен элемент "OSS Information".

Основные функции, обновленные в версии V3.00

Копирование клипов на внешний носитель

Клипы, записанные на карты памяти SxS, можно копировать на накопитель или носитель USB, подключенный к разъему для внешних устройств.

Перенос частей исходных файлов, записанных на видеокамере

С помощью приложения "Content Browser Mobile" версии 2.2 или старше можно указывать точки начала и окончания в исходных файлах, записанных на видеокамере, чтобы вырезать и перенести не файл целиком, а только его часть.

Добавлены форматы записи прокси

К настраиваемым форматам записи прокси добавлен формат HD Auto.

Добавлены форматы потоковой передачи

Можно выбрать варианты низкоскоростной передачи 0,3 Мбит/с и 0,2 Мбит/с.

Добавлены пункты меню User

Некоторые пункты меню File можно добавить к меню User.

Основные функции, обновленные в версии V2.00

Функция автофокусировки

Работа автофокусировки поддерживается, когда подсоединен объектив, поставляемый с PXW-X400KF или PXW-X580KF.

Функция коррекции flashband

Поддерживается функция коррекции явления, называемого "flashband".

Функция NFC

Поддерживается функция NFC.

Улучшенный запуск и отклик

Улучшены следующие элементы запуска и отклика.

- Уменьшен период времени с момента запуска до принятия управления клавишей.
- Уменьшен период времени с момента запуска до момента вывода изображения на видеодисплей/ЖК-монитор.
- Уменьшен период времени с момента выключения переключателя питания до полного выключения.
- Улучшен отклик в режиме эскизов.
- Улучшен отклик при работе в режиме непрерывной записи.

Поддержка записи в формате XAVC Intra 1080 59.94P/50P

XAVC-I 1080P можно выбрать, когда частота кадров непрерывной записи составляет 59.94 или 50.

Улучшения функции записи прокси-данных

Выполнены следующие улучшения функции.

- Можно начинать и останавливать запись прокси независимо, назначив функцию Proxy Rec Start/Stop назначаемому переключателю.
- Поддерживается запись прокси-данных на SDXC-карты.
- Поддерживается запись прокси-данных в режиме Network Client Mode.

Расширение функции при подключении цифрового беспроводного приемника DWR-S02D

Для передатчика можно выполнить настройки уровня мощности РЧ и экономии энергии.

Детальные настройки проводной ЛВС

Детальные настройки можно выполнить при подключении к сети при помощи кабеля ЛВС.

Функция блокировки пользовательского меню

Добавлена функция блокировки для пользовательского меню.

Улучшения функции Paint

- Работа функции DCC (DCC Delay Time) с настройками по умолчанию, измененными для соответствия широко используемым устройствам.
- Результат коррекции функции Low Key Saturation изменен для соответствия широко используемым устройствам.

Примечание

Если уже используется измененная настройка, то требуется повторная конфигурация.

Изменена настройка по умолчанию индикатора Counter/Duration

Настройка по умолчанию изменена на Counter для соответствия широко используемым устройствам.

Поддержка карт памяти XQD серии G и серии M

К картам памяти XQD, поддерживаемым видеокамерой, добавлены карты серии G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) и серии M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A).

Примечание

Для использования карт памяти XQD требуется дополнительный адаптер XQD ExpressCard (QDA-EX1).

Основные функции, обновленные в версии V1.10

Файловая система

- Теперь в качестве режима записи можно выбрать UDF.
- Поддерживается воспроизведение с носителей, запись на которые осуществлялась с файловой системой UDF.

Функция Interval Rec

- Функция Interval Rec поддерживается для следующих видеформатов.
XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i

Fungsi Utama yang Diperbarui di V5.00

Peringatan saat meningkatkan versi

Saat meningkatkan versi, ikuti langkah-langkah yang dijelaskan dalam panduan peningkatan versi (4-688-215-83(1)).

Dukungan fungsi HD-HDR (memerlukan opsi lisensi HDR)

Fungsi HD-HDR (Hybrid Log Gamma) kini didukung dengan menginstal Lisensi CBKZ-SLHL1 HDR (opsi).

Item menu yang terkait

Operation >Base Setting
Paint >HDR Paint Setting
Maintenance >Option >Install Option

Dukungan metadata "SR Live for HDR" (memerlukan opsi lisensi HDR)

SDR Gain dan parameter kunci lain kini dapat direkam bersamaan ke suatu file sebagai sebuah metadata dengan menginstal Lisensi CBKZ-SLHL1 HDR (opsi). Parameter kunci ini juga dapat ditanam dalam output SDI.

Penggunaan metadata memungkinkan solusi yang lebih konsisten dari produksi kamera Live melalui pemrosesan file pasca-produksi.

Dukungan fungsi Last Clip Delete

Klip yang terakhir direkam kini dapat dihapus menggunakan switch yang ditetapkan dengan fungsi Last Clip Delete.

Item menu yang terkait

Operation >Assignable Switch

Perbaikan fungsi tampilan mode pembesar fokus

Perbaikan visibilitas pembesaran fokus (Focus Mag) untuk menghindari kesalahan operasi.

Transfer file didukung dari layar thumbnail

File asli dan file proxy untuk transfer kini dapat dipilih pada layar thumbnail unit.

Item menu yang terkait

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Dukungan menu pembaruan sertifikasi

Sertifikat Network Client Mode kini dapat diimpor menggunakan menu web.

Sertifikat Sony Ci kini juga dapat diimpor menggunakan Upload Settings di menu web.

Untuk detail sertifikasi, hubungi perwakilan penjualan Sony Anda.

Item menu yang terkait

- System Settings >Network Client Mode Settings pada menu web
- Layar setup "Sony Ci" diakses dari Upload Settings di menu web

Peningkatan keamanan kata sandi

Kata sandi yang digunakan untuk autentikasi dasar kini harus terdiri atas 8 karakter atau lebih panjang dan mengandung setidaknya satu karakter alfabet dan satu karakter numerik, masing-masing, untuk peningkatan keamanan.

Item menu yang terkait

Maintenance >Basic Authentication >Password

Catatan

Pengaturan kata sandi diatur ulang saat meningkatkan firmware unit dari versi sebelum 5.0 ke versi 5.0 atau lebih baru. Dalam hal ini, konfigurasi ulang kata sandi.

Lainnya

Stabilitas perekaman dan operasi startup telah ditingkatkan.

Fungsi Utama yang Diperbarui di V4.12

- Ketika file proxy diunggah secara otomatis, transfer file yang baru ditambahkan akan diprioritaskan daripada file dengan kesalahan transfer.
- Stabilitas operasi perekaman telah ditingkatkan.

Fungsi Utama yang Diperbarui di V4.11

Masalah di mana perekaman tidak dapat dilakukan ketika hari kabisat (29 Februari) dikonfigurasi untuk Tanggal dalam menu pengaturan unit telah diselesaikan.

Fungsi Utama yang Diperbarui di V4.10

Kompatibel dengan kartu memori XQD QD-G120F dan QD-G240F XQD

QD-G120F dan QD-G240F telah ditambahkan ke rangkaian produk kartu memori XQD, yang dapat digunakan dengan kamera perekam ini. Adaptor XQD ExpressCard (QDA-EX1) diperlukan untuk menggunakan kartu memori XQD.

Fungsi Utama yang Diperbarui di V4.00

Registrasi switch tetapan Slow & Quick Motion

Saat ini, pengaturan untuk menyalakan/mematikan Slow & Quick Motion dalam menu setup dapat dialihkan menggunakan switch tetapan.

Pengaturan ini dapat diregistrasikan dalam switch tetapan 1, 3, 4, 5, atau tombol ONLINE.

Item menu terkait

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

Pemuatan metadata rencana dari kartu SDXC

Metadata rencana sekarang dapat dimuat dari kartu SDXC menggunakan Adaptor Media MEAD-SD02 opsional.

Item menu terkait

Operation >Planning Metadata

Catatan

Kartu SD/SDHC tidak dapat digunakan.

Peningkatan fungsi pada mode klien jaringan

Performa streaming kualitas tinggi menggunakan Teknologi Sony QoS telah ditingkatkan.

Selain itu, operasi berikut kini didukung menggunakan Connection Control Manager.

- Perekaman proxy hidup/mati
- Kontrol jarak jauh kamera dan SEMUA operasi file

Item menu terkait

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Fungsi Utama yang Diperbarui di V3.20

Dukungan untuk mode Pure untuk ATW (pelacakan otomat keseimbangan putih)

Dukungan ditambahkan untuk mode Pure yang, jika dibandingkan dengan mode yang ada, secara otomatis menyesuaikan keseimbangan putih untuk mendapatkan hasil mendekati warna primer tanpa warna kebiruan atau kemerahan sisa.

Item menu yang terkait

Operation >White Setting >ATW Mode

Dukungan kartu memori SDHC (FAT)

Selain kartu memori SDXC, kartu memori SDHC sekarang didukung kartu SD yang dapat digunakan dengan Adaptor Media MEAD-SD02 opsional.

Catatan

- Kartu memori SDHC hanya didukung jika sistem file adalah FAT dan format perekamannya adalah MPEG HD420 (HQ / SP).
- Sistem file FAT hanya didukung pada kartu memori SDHC.

Pengaturan konfigurasi untuk koneksi ke stasiun Wi-Fi

Pengaturan koneksi poin akses LAN nirkabel (stasiun Wi-Fi) sekarang dapat dikonfigurasi dari menu setup unit, tidak hanya dari menu web.

Item menu yang terkait

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Registrasi beberapa modus klien jaringan

Sampai dengan tiga pengaturan modus klien jaringan sekarang dapat didaftarkan.

Item menu yang terkait

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 hingga Preset 3

Registrasi switch Proxy Recording Mode yang dapat dialihkan

Operation >Proxy Recording Mode >Setting di dalam menu setup sekarang dapat diganti menggunakan switch pengalihan.

Hal ini memungkinkan pengalihan rekaman proxy saat berada dalam modus klien jaringan tanpa menggunakan menu.

Peningkatan integrasi dengan receiver nirkabel digital

Fungsi hemat daya dari Receiver Nirkabel Digital Sony DWR-S01D/S02D/S02DN sekarang dapat dikontrol dari camcorder.

- Fungsi "TX Power Save" dapat dialihkan ke switch pengalihan.
- Fungsi hemat daya receiver nirkabel digital dapat dihubungkan dengan pengoperasian switch daya camcorder.
- Status receiver nirkabel digital dalam mode hemat daya ditampilkan di jendela bidik dan monitor LCD.

Item menu yang terkait

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Catatan

Versi firmware receiver nirkabel digital Sony yang dibutuhkan untuk dukungan dijelaskan di bawah ini.

DWR-S01D V1.16 atau setelahnya, S02D V1.07 atau setelahnya, S02DN V1.12 atau setelahnya

Fungsi Utama yang Diperbarui di V3.10

Memformat saat merekam

Bahkan saat merekam, kartu memori SxS yang dimuat di slot kartu lain sekarang dapat diformat.

Catatan

- Pemformatan tidak didukung selama pemutaran atau ketika layar thumbnail ditampilkan.
- Selama pemformatan, perekaman ke kartu memori SxS lain tidak dapat dimulai.

Dukungan XDCAM air

Streaming berkualitas tinggi sekarang didukung dengan menghubungkan camcorder dengan XDCAM air.

Catatan

XDCAM air adalah layanan cloud yang disediakan oleh Sony. Untuk menggunakan layanan ini, pendaftaran perlu dilakukan. XDCAM air tidak disediakan di beberapa wilayah. Untuk informasi selengkapnya tentang wilayah-wilayah yang menyediakan layanan ini, kunjungi situs web berikut ini. <https://www.xdcam-air.com>

Untuk rincian mengenai kebijakan privasi XDCAM air, kunjungi situs berikut.

- Ketentuan layanan
https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html
 - Kebijakan privasi XDCAM air
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>
 - Kebijakan privasi ID profesional
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
- Untuk lebih jelasnya, hubungi perwakilan penjualan profesional Sony.

Transfer file metadata perencanaan

File metadata perencanaan sekarang dapat direncanakan dengan mengatur "Auto upload (Proxy)."

Menu web

"OSS Information" telah ditambahkan ke item menu yang ditampilkan dengan mengetuk  di kiri atas layar menu web.

Fungsi utama Diperbarui di V3.00

Menyalin klip ke media penyimpanan eksternal

Klip yang direkam pada kartu memori SxS dapat disalin ke media penyimpanan atau media USB yang terhubung ke konektor perangkat eksternal.

Mentransfer bagian dari file asli yang direkam pada camcorder

Menggunakan aplikasi "Content Browser Mobile" versi 2.2 atau yang lebih baru, Anda dapat menentukan titik In/Out di file asli yang direkam oleh camcorder untuk memotong dan memindahkan bagian potongan.

Format rekaman proksi ditambahkan

HD Otomatis telah ditambahkan ke format rekaman proxy yang dikonfigurasi.

Format streaming ditambahkan

Opsi bit rate rendah 0,3 Mbps dan 0,2 Mbps dapat dipilih.

Item menu Pengguna ditambahkan

Beberapa item dalam menu File dapat ditambahkan ke menu Pengguna.

Fungsi Utama yang Diperbarui dalam V2.00

Fungsi Auto-fokus

Operasi auto-fokus didukung jika lensa dilengkapi dengan PXW-X400KF atau PXW-X580KF seperti terlampir.

Fungsi koreksi Flashband

Fungsi koreksi untuk fenomena flashband didukung.

Fungsi NFC

Fungsi NFC didukung.

Kinerja startup dan respons operasi ditingkatkan

Kinerja startup dan item respons operasi berikut ini telah ditingkatkan.

- Waktu sejak startup hingga kontrol tombol diterima dipersingkat.
- Waktu sejak startup hingga gambar di-output di jendela bidik/monitor LCD dipersingkat.
- Waktu sejak kenop daya ke OFF ditekan hingga benar-benar mati dipersingkat.
- Respons di modus gambar kecil telah ditingkatkan.
- Respons terhadap operasi perekaman berkelanjutan telah ditingkatkan.

Dukungan perekaman format XAVC Intra 1080 59.94P/50P

XAVC-I 1080P bisa dipilih saat frekuensi sistemnya adalah 59,94 atau 50.

Peningkatan fungsi perekaman data proxy

Peningkatan fungsi berikut telah dilakukan.

- Anda dapat memulai dan menghentikan perekaman proxy secara independen dengan menetapkan fungsi Proxy Rec Start/Stop ke switch tetapan.
- Perekaman data proxy ke SDXC card telah didukung.
- Perekaman data proxy di Network Client Mode didukung.

Perluasan fungsi saat tersambung dengan Receiver Nirkabel Digital DWR-S02D

Pengaturan tingkat daya RF dan penghematan daya dapat diatur untuk transmiter penyiaran.

Pengaturan rinci LAN berkabel

Pengaturan rinci dapat diatur saat tersambung ke jaringan menggunakan kabel LAN.

Fungsi User Menu Lock

Fungsi kunci untuk menu Pengguna telah ditambahkan.

Peningkatan fungsi Paint

- Kinerja DCC (DCC Delay Time) dengan pengaturan default dimodifikasi agar sesuai dengan perangkat konvensional.
- Efek koreksi Low Key Saturation dimodifikasi agar sesuai dengan perangkat konvensional.

Catatan

Rekonfigurasi diperlukan jika telah menggunakan pengaturan yang dimodifikasi.

Pengaturan default indikator Counter/Duration

Pengaturan default diubah ke Counter agar sesuai dengan perangkat konvensional.

Dukungan kartu memori XQD G-series dan M-series

G-series (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) dan M-series (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) ditambahkan ke kartu memori XQD yang didukung oleh camcorder.

Catatan

Adaptor ExpressCard XQD (QDA-EX1) opsional diperlukan untuk menggunakan kartu memori XQD.

Fungsi Utama Diperbarui dalam V1.10

Sistem berkas

- UDF sekarang dapat dipilih sebagai modus perekaman.
- Playback media yang direkam dengan sistem berkas UDF didukung.

Fungsi Interval Rec

- Fungsi Interval Rec didukung untuk format video berikut. XAVC-L 50 1080i, XAVC-L 35 1080i, XAVC-L 25 1080i